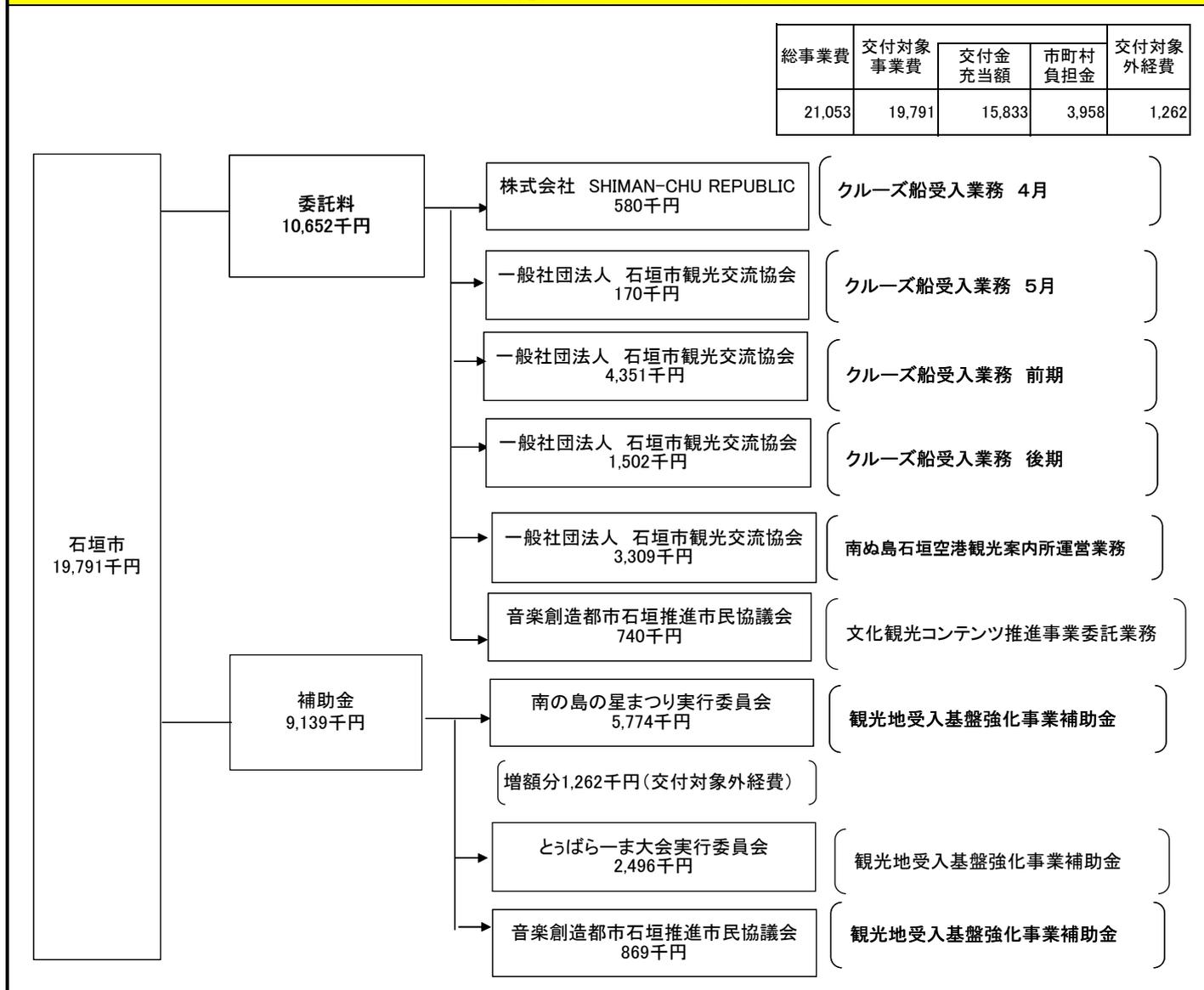


市町村名		石垣市					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	観光地受入基盤強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ	
	担当部署名	企画部 観光文化課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振興 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光誘客及び利便性確保を図るため、南の島の星まつりなど着地型イベントへの補助、クルーズ船の受入業務、観光案内サービスを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	(a) 当初予算額	20,603	19,500	25,220	25,040	25,140
		(b) 予算現額	10,182	12,900	21,220	23,585	25,140
		(c) 増減額(b-a)	▲ 10,421	▲ 6,600	▲ 4,000	▲ 1,455	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	B. 執行済額		8,265	9,962	17,612	20,996	19,791
	うち交付金充当額		6,611	7,969	14,089	16,797	15,833
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		81.2%	77.2%	83.0%	89.0%	78.7%
	予算の状況の説明		不用額については、クルーズ船受入委託業務の精算などによるものである。				
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	クルーズ船での来島客を対象とした案内所設置	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	未実施	実施	実施	実施	
	南の島の星まつりへの補助	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	とぅばらーま大会への補助	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	音楽創造都市石垣推進市民協議会イベントへの補助	目標	()	()	(実施)	(実施)	
		実績			実施	実施	
空港にて観光案内サービスを実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
	実績	実施	実施	実施	実施		
石垣島天文台内の「星空学びの部屋」で案内業務等を実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	()		
	実績	実施	実施	実施			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船は、R6年度(R6.4月～12月)は88回の寄港があり、団体行動限定のクルーズ船寄港時を除き81回案内所を設置した。 南の島の星まつりは、記念講演会や星空ウィークの事業を実施し、星まつりライブ&観望会を行った。 とぅばらーま大会は、雨天のため会場を屋外から屋内(市民会館)へ変更し開催した。オンラインでも同時配信を行った。 「音楽民族+SESSIONS 2025」を開催(アーカイブでも配信)、伝統音楽や八重山の音楽の映像や音源、文章等のデータを蓄積し、ウェブサイトでも発信。 石垣空港案内カウンターにおいて、観光案内サービス提供のスタッフを配置し、観光案内業者や台風時等の危機管理における観光客への情報発信及び情報収集、石垣市の観光における苦情受付業務等を行った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
	クルーズ船での来訪客数:270,437人以上	目標	()	(360,583人)	()	(270,437人)	()
		実績		10,889人		272,032人	
	クルーズ船受け入れ体制の再構築	目標	()	()	(実施)	()	()
		実績			実施		
	南の島の星まつりへの来場者数:6,750人以上	目標	()	(9,000人)	(4,500人)	(6,750人)	()
		実績		650人	3,029人	3,590人	
	とぅばらーま大会への来場者数:2,250人以上	目標	()	(3,000人)	(1,500人)	(2,250人)	()
		実績		850人	1,500人	700人	
音楽創造都市石垣推進市民協議会イベントへの来場者数:225人以上	目標	()	()	(500人)	225人	()	
	実績			190人	100人		
空港での観光案内によって利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
	実績		100%	100%	100%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船での来訪客数については、目標を達成できた。 南の島の星まつりは、星まつり目的の観光来島も見受けられたが、目標来場者数には達しなかった。 とぅばらーま大会は天候不良により最大席数約1000名の市民会館へ会場変更となり、目標来場者数には達しなかった。 音楽創造都市イベントは終了後アンケートで好評だったものの、来場者数が伸び悩んだ。一方、今後アーカイブ映像等において追加的な情報発信から更なる閲覧者獲得に期待できる。 空港案内所は、43人からアンケート回答を得られ、43人が「必要な情報を得られた」と回答している。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船の受入については、来航数の増加に伴い、今後受入体制を整える必要がある。 南の島の星まつり実行委員会の主な収入は、補助金や協賛金等であるため、財務状況は脆弱で、イベント実施による収益だけでは運営が困難であるため、今後も支援と自主財源の確保に向けた取組が必要。 とらばら一ま大会は天候不良により目標の1500人に達しなかった。 音楽創造都市イベントは参加者からは好評であった一方で、参加人数が目標に達しなかった。 空港案内所は国内外からの観光客28,963人の来所があり、内43人よりアンケート回答が得られたが、回答率の向上が課題として見えた。 	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船受入については、クルーズ船の来航回数が増加し大型化してきているため、現地通訳の確保に努め受入体制を整備し、観光誘客に繋げる。 南の島の星まつりは、運営費が高額化してきているため企業からの協賛金集めの強化による自主財源確保に向けて取組みや新たな自主財源の発掘を図る。 とらばら一ま大会は、県外のとらばら一ま愛好家に留まらず、八重山文化の情報発信を積極的にPRし、一般旅行者への認知拡大を図る。 音楽創造都市イベントは、今後の開催について検討する。 空港案内所は、アンケート回答率の上昇を目指し回答方法の多様化を検討する。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船受入は地元事業組合等と連携し、より地元で消費してもらうための移動手段の仕組みづくりを検討や受入体制の強化を図るため、外国人向けのマップやパンフレットの作成も検討する。 南の島の星まつりは、地元協賛企業の拡大を図り、より内容の充実した誘客イベントを検討する。また、SNS等を活用しイベント等のPRを図る。 とらばら一ま大会は、県外からの旅行者誘客拡大を目指し、SNS等を活用し国内外に発信し、イベントの周知にも注力する。 音楽創造都市関係は、ユネスコ音楽創造都市部門への申請について再度検討を要するため、一旦イベントを終了する。 空港案内所業務は、国際線定期便の再開による更なる旅行者のニーズ多様化に対応するため、引き続き石垣市を含む八重山圏域の観光情報を収集し、十分な情報提供に努めるとともに、観光客により良い情報発信を提供できるようアンケート回答方法を検討する。

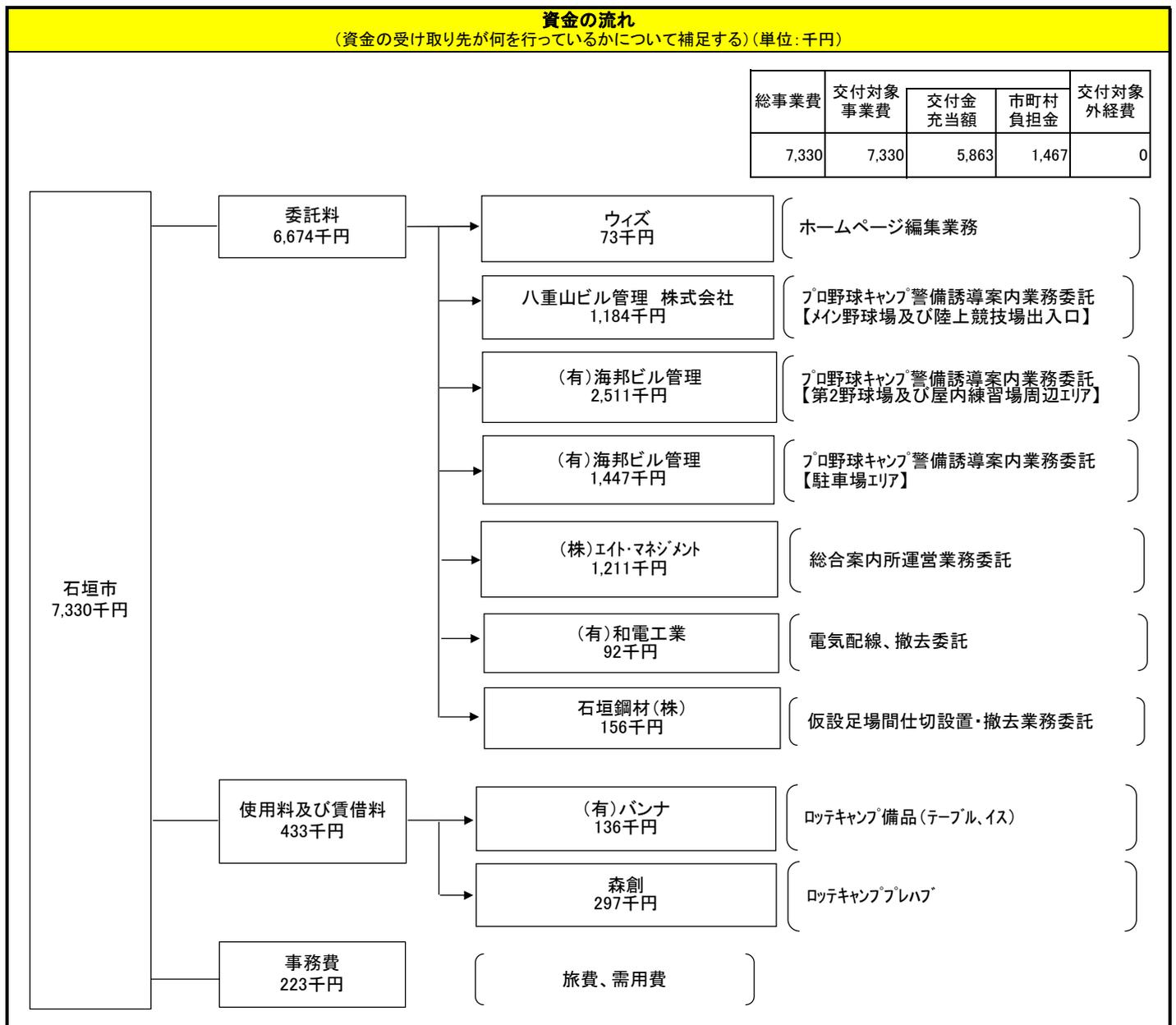
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘案した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結しており、また、補助交付については補助金交付対象を交付要綱にて定めており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金は交付要綱に沿って補助を行っており、妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	石垣市						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-② スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所					
担当部署	企画部 スポーツ交流課	事業実施（予定）年度 平成24～令和13年度					
		沖縄振興基本方針 該当箇所					
事業内容	第4章-3-(9)-ア スポーツ関連産業の振興と地域の活性化						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,255	8,641	8,490	9,248	9,586
		(b) 予算現額	10,255	8,641	9,731	9,248	9,586
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	1,241	0	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	10,255	8,641	9,731	9,248	9,586
		B. 執行済額	6,793	6,033	8,527	7,824	7,330
		うち交付金充当額	5,434	4,825	6,821	6,258	5,863
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	66.2%	69.8%	87.6%	84.6%	76.5%
予算の状況の説明	不用額については、主にプロ野球千葉ロッテマリーンズのキャンプ受入に係る各経費において、イベント内容の見直し等で必要額が減少した事による執行残等である。						
活動目標（指標）及び達成状況	R6活動目標（指標）	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	スポーツ合宿の誘致活動	目標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	スポーツ合宿受入環境の整備	目標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	・スポーツ合宿の誘致活動については、プロ野球チーム等への営業活動を行った。 ・スポーツ合宿受入環境の整備については、プロ野球キャンプ開催に係る案内、広報、警備業務を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R6成果目標（指標）	基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）	
	プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 20団体以上	目標	（ ）	（ 8団体以上 ）	（ 8団体以上 ）	（ 20団体以上 ）	（ ）
		実績		20団体	22団体	20団体	
	プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に来場した観客数 20,000人以上	目標	（ ）	（ 28,000人 ）	（ 6,000人 ）	（ 20,000人 ）	（ ）
		実績		20,400人	20,670人	15,450人	
進捗状況説明	・目標の20団体が合宿を実施した。 ・プロ野球キャンプ観客数について、キャンプ期間が14日間と例年の約半分の日数に減少したことや、2日間開催予定であった交流戦のうち初日が悪天候のため中止となったことにより、目標数より大幅に観客数が減少した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ実施数は目標に達成しているが、キャンプの問合せが冬季期間に集中しており、受入する体育施設では新規での受入が難しい。 ・プロ野球キャンプについて、例年よりキャンプ日数の減少や2日間開催予定であった交流戦のうち、初日が悪天候のため中止となった影響により目標値を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ需要は多いものの、冬季期間に集中しているため冬季以外への分散化により、通年でキャンプを行えるよう誘致方法等の工夫が必要である。 ・プロ野球キャンプ観客数について、キャンプ期間が今回同様日数減少することが見込まれるため、キャンプ日数の減等があっても来場者を確保できるよう、イベント企画等を検討する。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・冬季期間以外での合宿を行える種目として、屋内競技やマリンスポーツ等の誘致を強化していく。 ・プロ野球キャンプ期間減少による観客数減少を抑えるため、選手と観客が触れ合えるイベントの創出をし、来場者の増加を図る。 ・プロ野球キャンプ初週に観客が集中しているため、警備体制の見直しを行い選手及び観客の安全を確保するための対策を行う。 		



資金の流 れ、 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘案した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結したほか、警備業務委託では一般競争入札等により選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市		令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】				
事業番号・事業名	2-①	石垣市中央運動公園リニューアル事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-イ			
担当部署	建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度	平成27～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備		
事業内容	スポーツを通じた観光誘客を含め、中央運動公園の利活用促進を図るため、中央運動公園の再整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R14年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	R3年度	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R6年度
		(b) 予算現額		54,000	-		29,000
		(c) 増減額 (b-a)		102,186	-		27,400
		(d) 繰越額		48,186	-	0	▲ 1,600
		A. 計 (b+d)		-	60,623	-	-
	B. 執行済額			102,186	60,623	0	27,400
	うち交付金充当額			41,563	55,559		27,269
	次年度繰越額			33,250	44,447		21,815
	執行率 (%) (B/A)			60,623	0	0	0
	予算の状況の説明		・補正については、入札残等による事業費の減額である。				
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	石垣市中央運動公園駐車場、園路、広場等再整備基本設計の実施	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
	陸上競技場再整備基本設計の実施	目標	()	(実施)	()	()	
		実績		実施			
スポーツ施設の整備	目標	()	(完了)	()	()		
	実績		完了				
達成状況説明	石垣市中央運動公園施設再整備基本設計業務において、駐車場・園路・広場等の基本設計を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標値
	石垣市中央運動公園駐車場、園路、広場等再整備基本設計の完了	目標	()	()	()	(完了)	()
		実績				完了	
	陸上競技場再整備基本設計の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	スポーツ施設の整備	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R5成果目標】 スポーツ合宿件数22件/年間	目標	()	()	()	()	(22件)
		実績					19件
	【R14成果目標】 再整備後の施設を活用した団体等が主催するスポーツ大会等の開催数6回以上/年間	目標	()	()	()	()	(6回)
実績							
進捗状況説明	・石垣市中央運動公園再整備全体基本計画のもと、駐車場、園路、広場等の施設の機能、規模、配置計画等を設定し、基本設計の実施を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	石垣市中央運動公園再整備全体基本計画のもと、駐車場、園路、広場等の施設の機能、規模、配置計画等を設定し、基本設計の実施を行ったが、機能、規模、配置計画の調整に時間を要したため、業務完了が遅れた。	今後は、早期着手し、適切な工程管理を行うとともに様々な調整事項を迅速に対応する必要がある。
今後の取り組み方針		
今後は実施設計を行い、関係機関と調整を図りながら円滑に事業を実施し、公園施設のリニューアルを推進していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,269	27,269	21,815	5,454	0
<pre> graph LR A[石垣市 27,269千円] --> B[委託料 27,269千円] B --> C[株式会社 建設技術研究所 沖縄支社 27,269千円] subgraph D [石垣市中央運動公園施設再整備 基本設計業務委託] C end </pre>				

資金の流 点検・ 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	離島保育士確保総合対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア	
担当部署名	福祉部こども未来局 子育て支援課	事業実施(予定)年度	平成28～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・子育て支援の充実		
事業内容	待機児童0の維持に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	23,517	21,817	18,017	14,417	12,466
		(b) 予算現額	25,317	21,817	16,375	9,775	12,249
		(c) 増減額(b-a)	1,800	0	▲ 1,642	▲ 4,642	▲ 217
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	25,317	21,817	16,375	9,775	12,249
		B. 執行済額	14,500	13,600	7,638	8,586	8,047
		うち交付金充当額	11,600	10,880	6,110	6,869	6,437
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	57.3%	62.3%	46.6%	87.8%	65.7%
予算の状況の説明	補正額については、保育士試験本部長及び監督員研修がオンライン開催となったため、事業費217千円の減額である。不用額については、島外保育士の渡航費、転居費等の支援に係る申請を20件と見込んで予算計上していたところ、実績値が10件であったことによる執行残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	島外保育士の渡航費、転居費等の支援	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	潜在保育士の再就職の支援	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	実施	実施			
	保育士養成校への支援	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	保育士試験離島開催に係る本部長研修への参加	目標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実績	実施	実施	実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 島外保育士の渡航費等の支援により、県内から4名、県外から6名の保育士を確保した。 市内において保育士養成課程の実施を行う専門学校に対し運営補助を行い、修了者8名が保育士資格を取得した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
		目標	()	(0名)	(0名)	(0名)	()
	待機児童数:0名	実績		0名	0名	0名	
		目標	()	()	()	()	()
	進捗状況説明	実績					
		<ul style="list-style-type: none"> 離島地域で保育士確保が困難な中、待機児童数0名の目標を達成できた。 					

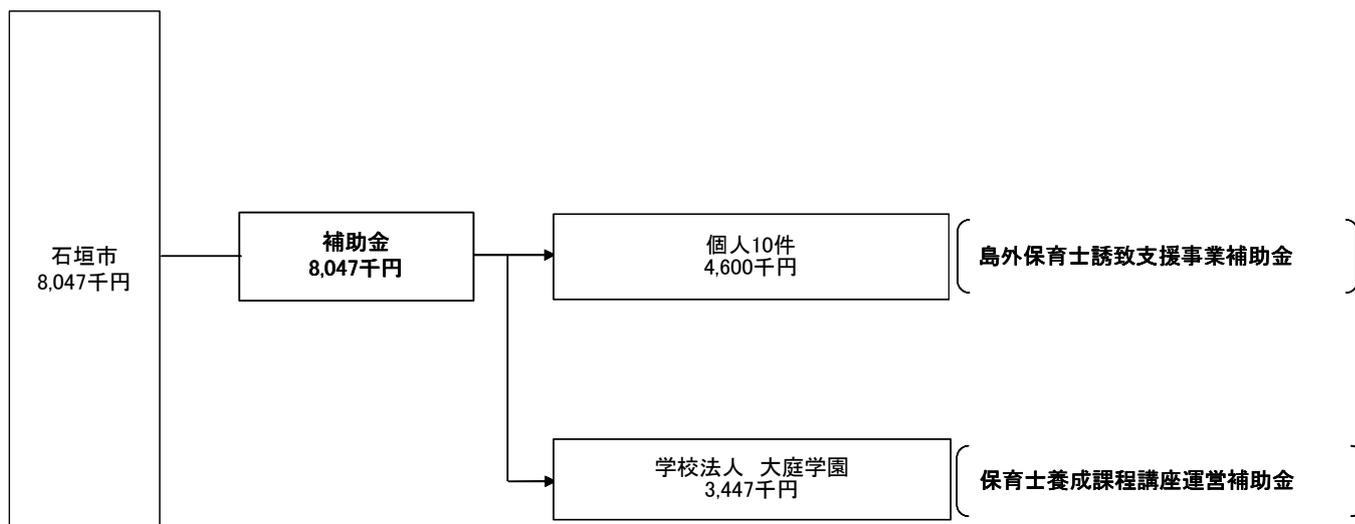
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・待機児童数0名の目標を達成でき市内での児童の受け入れ体制を整えられたものの、一部の保育施設では保育士不足により一時的に児童の受け入れができず、他の保育施設で受入れている状況があった。</p>	<p>・島外保育士の渡航費、転居費等の支援に係る申請を20件と見込んで予算計上していたところ、実績値が10件であった。HPやSNSでの周知活動を強化することで、本事業の認知度向上を図る。</p>

今後の取り組み方針

・HPやSNSでの周知活動を強化することで、本事業の認知度向上を図る。
 ・本事業とは別で実施する市内外の保育士を対象とした保育所見学ツアーや合同就職説明会等を実施する中で、事業制度の周知を図り、保育士確保に取り組む。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
8,047	8,047	6,437	1,610	0



資金の流 れ、 点 検 評 価 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は補助金交付対象を交付要綱に定めており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助交付申請を予定していた者からの未申請や補助申請の減少等により不用が生じたものの、予算規模は、事業の計画から適正な規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係については、補助事業の内容から判断して妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	石垣市						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	ひとり親家庭生活支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(1)-ウ			
担当部署名	福祉部こども未来局	こども家庭課	事業実施(予定)年度	平成30～令和13年度	ひとり親家庭等の困難を抱える保護者への支援		
事業内容	ひとり親家庭世帯の自立を図るため、自立に向けた具体的な目標及び意欲のある世帯に対し、民間アパートを活用した住宅支援や就労支援、子育て支援等の生活全般にわたる支援を原則1年間行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,749	9,749	12,725	13,205	13,636
		(b) 予算現額	9,749	9,749	12,725	10,825	13,636
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲ 2,380	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	9,749	9,749	12,725	10,825	13,636
		B. 執行済額	7,835	5,924	7,880	9,515	9,961
		うち交付金充当額	6,267	4,738	6,303	7,246	7,968
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	80.4%	60.8%	61.9%	87.9%	73.0%
	予算の状況の説明	不用額については、委託業務の精算などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	年間支援対象世帯数:4世帯	目標	(5世帯)	(4世帯)	(4世帯)	(4世帯)	
	実績	2世帯	2世帯	4世帯	2世帯		
	達成状況説明	・R6年度については、2世帯の住宅支援を開始することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R6年度)	
	支援開始1年後の自立した世帯の割合:75%以上	目標	()	()	(75%)	(75%)	()
		実績			67%	-	
	進捗状況説明	・令和5年度に支援開始した3世帯中、2世帯が支援期間満了し生活状況が改善された(自立した)ため終了。1世帯が経過期間満了後も支援が必要のため、引き続き自立に向けて支援を続けていく。 ・前年に比べ、物価高騰による影響を大きく受けており、今年度は支援件数が1件増加している。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭世帯は社会情勢の影響を受けやすく、特に深刻となるのは収入面に関する事で、不安定な昨今の社会情勢の中で、支援を必要とする世帯が増加している。 石垣市における家賃は依然として高止まりが続いており、ひとり親家庭世帯で生活するため、環境の良いアパートは家計を圧迫し続けている。 また、本市の公共交通機関は利便性が悪く、自家用車の維持管理費や通勤・通学を考慮して選定する必要がある。 ひとり親家庭世帯は就労や家事等日々の生活に追われ、家計管理、子どものしつけや育児、自身や子どもの健康管理など様々な面において困難に直面している。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済的自立を支援するため、附帯事業の技術力向上支援事業において講座を開催し、技術力の向上によりキャリアアップすることで収入の増加へつながるよう、より多くのひとり親世帯が受講できる講座を検討する必要がある。 また、前年度は研修受講までの敷居が高く受講生が集まらなかったため、次年度は研修受講の前に懇親会を設けるなど、受講しやすい環境づくりを努める。 アパートを探す際は、ひとり親家庭が自立支援後も継続して安心して暮らせるよう、不動産会社と連携し、選定する。 就労支援や子育てで支援として、子どもの居場所を利用して放課後の学習支援などを行い子育ての負担を軽減しながら、親の就労時間を確保し収入増加へつなげる必要がある。
	今後の取り組み方針	
<p>令和5年度から支援継続していた3世帯のうち、2世帯については、支援開始時より生活環境の改善(主にこどもの生活リズムの安定・学習体制の確保など)、家計の適正な管理により生活が安定している。1世帯については、心身状態の悪化に伴い、福祉関係部署と連携を取りながら引き続き総合的な支援を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅支援については、地域の不動産会社等へ本事業を周知し、相対的に安い家賃の物件について情報提供の依頼を行い、支援終了後も家賃が負担とならないよう取り組んでいく。 子育て支援として、社会資源(子ども食堂など)も利用し、希薄化している地域とのつながりが持てるよう取り組んでいく。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,182	9,961	7,968	1,993	221
<pre> graph LR A[石垣市 9,961千円] --> B[委託料 9,961千円] B --> C["(一社)石垣市ひとり親家庭福祉会 9,961千円"] subgraph "石垣市ひとり親家庭生活支援事業業務委託" B C end D["ほか対象外経費 221千円"] </pre>				

資金の流 れ、点 検、 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、ひとり親家庭や寡婦の者を正会員として発足して以来、本市内で長年ひとり親家庭への様々な支援を行っている。また、本市で同様の実績がある団体は他になく、委託先の選定は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○各種相談窓口対応のための人員確保等、事業内容に見合った予算規模となっており適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	ものづくり、マーケティング総合支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(8)-イ		
担当部署名	農林水産商工部 商工振興課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	県産品の売上げ拡大促進		
事業内容	本市ものづくり産業等に関する販路開拓を図るため、石垣空港からの海外輸出体制の構築、国内外でのPRおよび販路活動、地産地消イベントを行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	31,513	17,699	11,300	12,300	23,300
		(b) 予算現額	23,813	17,699	11,701	12,300	23,300
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 7,700	0	401	0	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計 (b+d)		23,813	17,699	11,701	12,300	23,300
	B. 執行済額		19,361	16,163	11,626	10,586	20,477
	うち交付金充当額		15,488	12,930	9,300	8,469	16,381
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		81.3%	91.3%	99.4%	86.1%	87.9%
予算の状況の説明		不用額については、委託業務の精算などによるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	R6活動目標（指標）	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	石垣空港から海外へ物品を輸送するための体制構築（保税蔵置場の設置・運営、利活用促進）	目標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	地産地消、域外、海外販路における物産PR活動	目標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
実績		実施	実施	実施	実施		
地産地消イベント	目標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ 実施 ）		
	実績	実施			実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 石垣空港から海外へ物品を輸送するための体制構築では、石垣空港保税蔵置場を活用し、2024台湾美食展への農林水産物を輸出した。 需要調査では、欧米市場へ展開するための基本調査を行った。 特産品の営業活動では、2024年8月に台湾の世界貿易センター展示ホールで開催された2024台湾美食展へ出店し石垣市特産品及び石垣牛の販売を行った。 地産地消イベントでは、石垣島の農林水産物や特産品の魅力を広く知ってもらい、地産地消を推進する事を目的に「石垣島BBQ&島ぐるめフェス」を開催した。 						
成果目標（指標）及び進捗状況	R6成果目標（指標）	基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）	
	石垣空港保税蔵置場を活用した農林水産物の輸出件数：1件以上	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 1件 ）	（ ）
		実績				1件	
	地産地消イベント開催：来場者数1,000人	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 1,000人 ）	（ ）
		実績				約2,500人	
牛肉の輸出額：1,200千円以上/一頭当たり	目標	（ ）	（ 1,200千円 ）	（ 1,200千円 ）	（ ）	（ ）	
	実績		実績なし	400千円			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 石垣空港保税蔵置場を活用した農林水産物の輸出では、年度内に石垣空港の国際線が再開されず定期的な輸出とはならなかったが、国内空港を経由することで台湾への輸出を行い目標を達成した。 地産地消イベントでは、2024年10月に、南ぬ浜緑地公園で石垣島BBQ&島グルメフェスを開催し2500人が来場した。 						

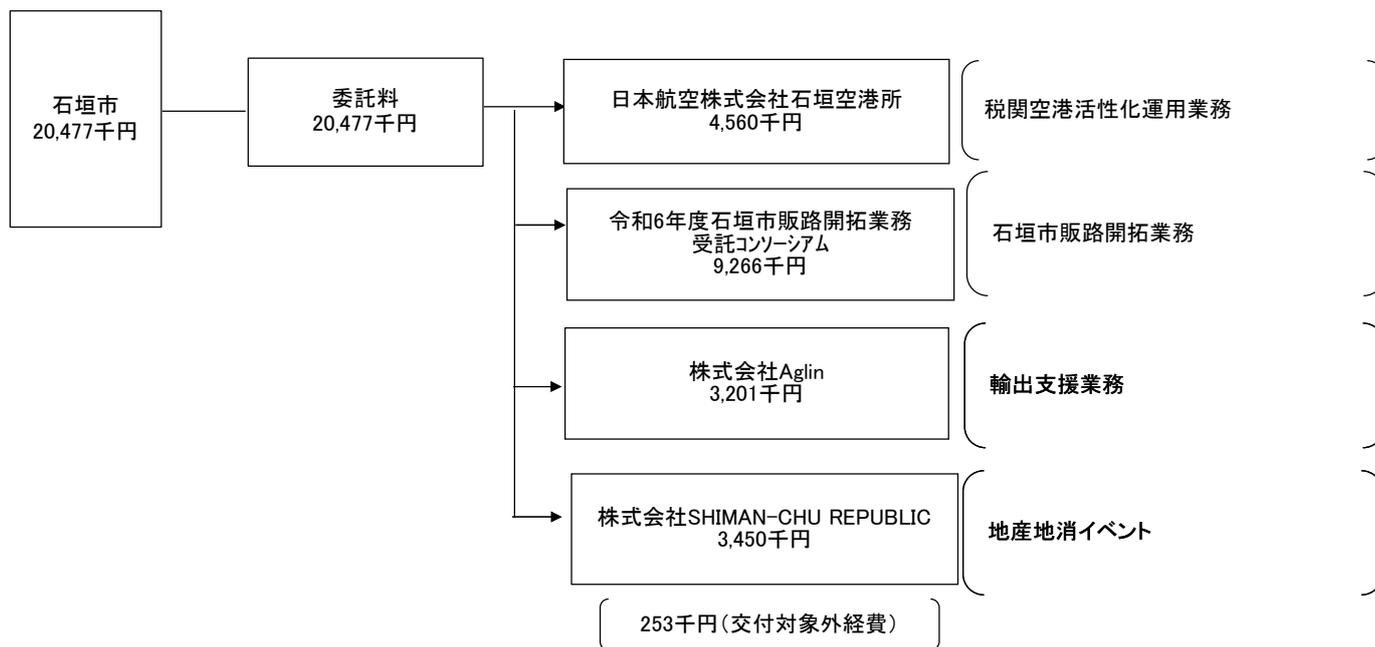
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 石垣空港国際線が令和7年4月より再開されることにより石垣空港から直接海外輸出が可能になることが期待される。 航空会社に対して国際便での貨物取扱を検討してもらう必要がある。 地産地消イベントの開催により2500人の来場者を集め、石垣島産の肉や野菜、果実など特産品の普及に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> 輸出に関する情報提供や相談窓口の設置、さらには輸出商社とのマッチング支援などを行っていく。 海外市場へのアクセスを強化し、現地のニーズに応じたマーケティング戦略を構築するために、現地パートナーとの連携強化や、商談会や展示会の開催を検討していく必要がある。 地元食材の価格に対する不満が一部みられ、地元食材の価値をより明確に伝える施策が必要である。

今後の取り組み方針

・販路開拓に関して、地域の特性やニーズに応じた戦略的なアプローチが求められており、令和6年度に実施した市場調査を通じて消費者の動向を把握し、ターゲット層に適したプロモーション活動を展開していく必要がある。具体的には、令和7年度より本市との国際便の定期運航が再開する東アジア(台湾、香港、韓国)等での物産展の開催など直接的な顧客接点の創出を促進する。また、輸出関連の流通業者や小売業者と連携し商談会等の機会を創出する等BtoB取引の推進に取り組み、安定した供給網を構築する事で市場の拡大を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
20,730	20,477	16,381	4,096	253



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘案した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結し、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① ”石垣産の牛”生産推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(10)-ア		
	担当部署名	農林水産商工部 畜産課		事業実施 (予定)年度 平成24～令和13年度		離島ごとの環境・特性を生かした 農林水産業の振興	
				沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ-1-(6)	
事業内容	本市のブランド牛である「石垣牛」の出荷頭数及び平均販売額の増加を図るため、肥育開始前の子牛(素牛)や肥育牛の増に資する補助を実施する。また、伝染病等の防止及び肉用牛の販売額の向上を図るため、離島観光地である本市として、空港等での家畜伝染病防止等の取り組みを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	51,433	51,143	61,476	62,550	68,649
		(b) 予算現額	51,541	57,143	61,476	63,455	54,774
		(c) 増減額(b-a)	108	6,000	0	905	▲ 13,875
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	51,541	57,143	61,476	63,455	54,774
	B. 執行済額		47,873	52,062	57,908	51,740	50,913
	うち交付金充当額		38,297	41,649	46,326	41,392	40,730
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		92.9%	91.1%	94.2%	81.5%	93.0%
予算の状況の説明		補正については、補助申請数が見込数を下回ったことや契約社員の確保に時間を要したことで同職員に係る費用減に伴う減額である。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	優良母牛導入補助の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	優良肥育素牛への補助実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	肥育牛販路拡大の補助実施	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
	殺虫剤購入費補助の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
靴底消毒の実施(空港、離島ターミナル)	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
	実績	実施	実施	実施	実施		
海外輸出適合施設整備の支援	目標	()	(実施)	(実施)	()		
	実績		実施	実施			
高齢繁殖母牛早期淘汰の補助実施	目標	()	(実施)	(実施)	()		
	実績		実施	実施			
石垣牛宣伝活動への補助実施	目標	(実施)	()	()	()		
	実績	実施					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 優良母牛導入補助については、71頭の導入補助を行い、更新を図った。 優良肥育素牛への補助については、242頭の飼料費補助を行った。 肥育牛販路拡大の補助については、今後の計画策定に向け、輸出に向けた現状分析を行った。 殺虫剤購入費の補助については、7,750頭の塗布を行った。 家畜伝染病防止のため、空港及び離島ターミナルでの靴底消毒にかかるマットを設置し、ウイルス侵入リスクの低減を図った。 						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	素牛の年間出荷頭数:6,926頭以上	目標	()	(7,191頭)	(7,106頭)	(6,926頭)	()
		実績			7,092頭	7,128頭	6,569頭
	素牛の平均販売額:500千円以上/頭	目標	()	(700千円)	(670千円)	(500千円)	()
		実績			562千円	455千円	452千円
	肥育牛の年間出荷頭数:795頭以上	目標	()	(871頭)	(812頭)	(795頭)	()
		実績			791頭	827頭	933頭
	肥育牛の年間売上高:950百万円以上	目標	()	(995百万円)	(931百万円)	(950百万円)	()
		実績			1,112百万円	1,108百万円	1,129百万円
	伝染病等にかかった頭数:0頭	目標	()	(0頭)	(0頭)	(0頭)	()
実績				0頭	0頭	0頭	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 素牛の年間出荷頭数については、目標値を下回った。 素牛の平均販売額については、目標値を下回った。 肥育牛の年間出荷頭数については、目標値を上回った。 肥育牛の年間売上高については、観光客が増加し、市内の石垣牛の希少性が高まった影響で枝肉単価が高くなり目標値を大幅に上回った。 伝染病等にかかった頭数については、0頭を達成できた。 						

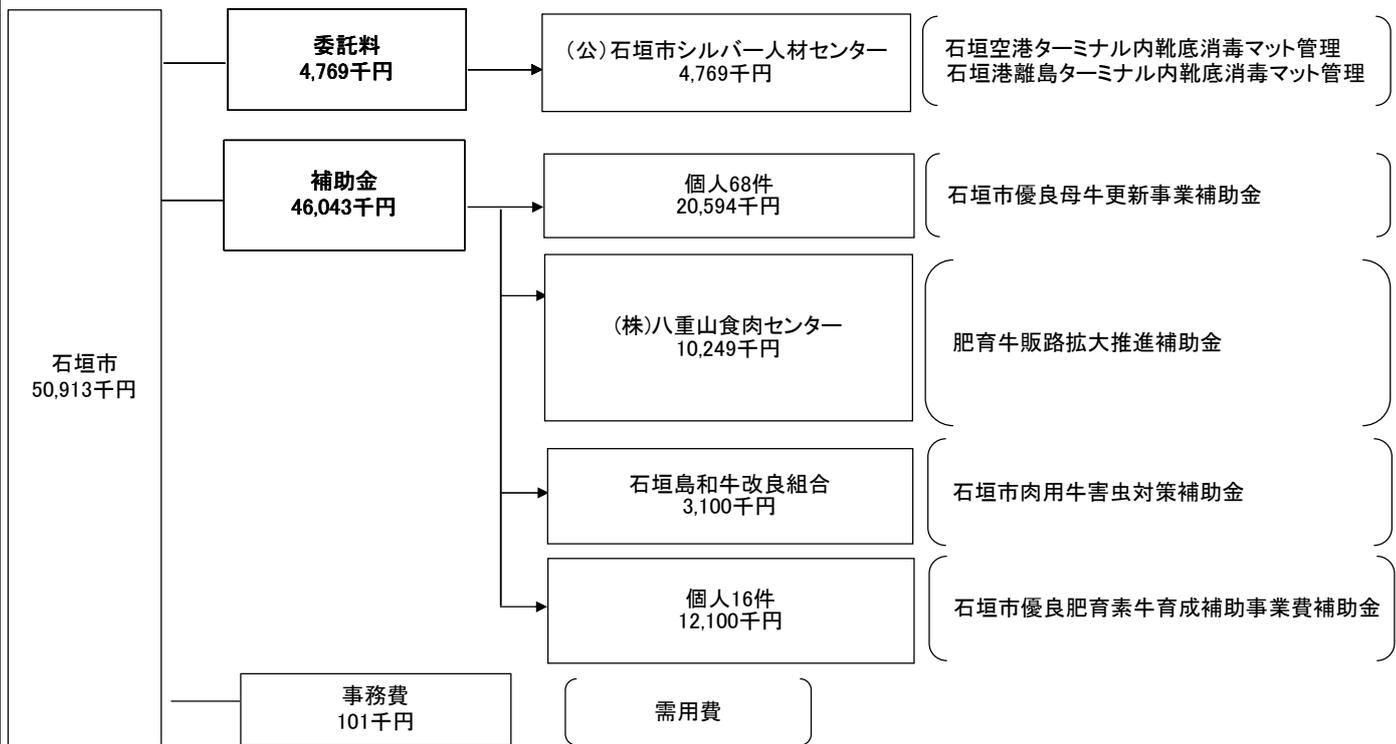
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・素牛の年間出荷頭数が減少した要因は、昨今の物価及び飼料代高騰の影響もあり、畜産農家の生計が苦しく、母牛を売りに出したことで、新たな子牛を出せないものと考えられる。 ・素牛の平均販売額が下がった要因は、全国的な物価及び飼料代高騰の影響で購買者の意欲が落ち価格にも反映されたためと考えられる。 ・肥育牛の年間出荷頭数が増えた要因は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが五類感染症へ移行後、観光客が増加し市内精肉店への石垣牛の供給が増えたためと考えられる。 ・肥育牛の年間売上高が目標を大幅に上回った要因は、市内での石垣牛の需要が高まっているためと考えられる。 ・家畜伝染病については、伝染予防が重要であることから、SNS等を利用し、市民や観光客に対し伝染病に対する意識付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・素牛の出荷頭数については、より一層の増加に向けて、引き続き優良母牛更新事業を推進し優良繁殖母牛の導入及び種畜の改良更新を図る。 ・素牛の平均販売額が下がってきていることから、優良肥育素牛育成事業を推進し、販売額増に向け、セリ市場を管理するJAや改良組合とのより一層の連携を行う必要がある。 ・肥育牛の出荷頭数については、より一層の増加に向けて、農家の生産数向上に向けた補助を引き続き行う。 ・肥育牛の年間売上高については、より一層の増加に向けて、引き続き消費拡大や販路拡大プロジェクト活動等を展開していく必要がある。 ・伝染病に対する水際対策には、個々の意識付けが必要なため、今後も関係機関を含めた連携体制の構築に取り組む。

今後の取り組み方針

- ・優良母牛導入で購入した牛の1年1産を畜産農家へ促し、種付けを適宜行った上、分娩間隔の短縮を図り出荷頭数増加に取り組む。
- ・畜産関係機関と連携し、購買者のニーズにあった素牛(子牛)生産に取り組み、各農家へは飼養管理の徹底や指導を行い、子牛販売価格の向上を図る。
- ・支援事業やSNS等を活用した情報発信を強化することで、石垣産の牛の供給量を図る。
- ・JA、肥育部会、流通協議会と連携し、石垣産の牛の価値向上を目指し、消費拡大及び販路拡大により枝肉価格の増額に繋げる。
- ・畜産地域防衛対策の確立を図り、畜産関係機関と連携しながら、畜産農家や市民、観光客への伝染病予防周知の強化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
50,913	50,913	40,730	10,183	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約としており、また、補助交付については補助金交付対象を交付要綱にて定めており、妥当である。
○		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
○		受益者との負担関係は妥当であるか。	○元々受益者負担があり、一部補助であるので、妥当であると考える。
○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		石垣市					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-② 水産振興事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ア			
	担当部署名	農林水産商工部 水産課		事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	離島ごとの環境・特性を生かした 農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)
事業内容	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。また、鮪漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行なう。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R8年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の 状況	(a) 当初予算額	706	560	1,696	2,120	1,696
		(b) 予算現額	466	560	1,696	2,120	1,352
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 240	0	0	0	▲ 344
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計 (b+d)	466	560	1,696	2,120	1,352
	B. 執行済額		465	560	1,327	1,034	933
	うち交付金充当額		371	448	1,061	827	746
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		99.8%	100.0%	78.2%	48.8%	69.0%
予算の状況の説明		補正については、輸送回数が当初計画より減少したため、事業費を減額する。不用額については、補助申請額が見込額を下回ったことによるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	養殖用種苗の輸送費支援 (R元～3年:沖縄ミーバイ種苗の輸送費支援)		目標 (38,500尾)	(輸送支援の 実施)	(輸送支援の 実施)	(輸送支援の 実施)	
			実績 (37,300尾)	輸送支援の実施	輸送支援の実施	輸送支援の実施	
	冷凍餌の輸送費支援		目標 ()	(輸送支援の 実施)	(輸送支援の 実施)	(輸送支援の 実施)	
		実績	輸送支援の 実施	輸送支援の 実施	輸送支援の実施		
達成 状況 説明	・漁業者の経営の安定化を図るため、沖縄県本部町にある栽培漁業センターから石垣間の種苗輸送及び沖縄本島から石垣間の冷凍餌の輸送費支援を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R6年度)	目標値 (R8年度)
	養殖魚類種苗の輸送費支援完了 (R元～3年:沖縄ミーバイ種苗の輸送費支援完了)		目標 (完了)	(完了)	(完了)	()	()
			実績	完了	完了		
	鮪漁等の水揚げ量		目標 (610t)	(612t)	(610t)	()	()
			実績	577t	575t	567t	
	【R4成果目標】 沖縄ミーバイ出荷量		目標 (8,550尾 以上)	()	()	()	()
			実績	7,918尾			
【R4成果目標(R6発現)】 養殖魚類水揚げ量		目標 ()	()	()	(5,295尾)	(5,400尾)	
【R6成果目標(R8発現)】 養殖魚類水揚げ量		実績			4,720尾		
進捗 状況 説明	・養殖魚類種苗に関して、1,000尾の種苗を輸送支援した。 ・鮪漁等の水揚げ量は567tと目標に達することができなかった。 ・養殖魚類の水揚げ量は4,720尾と目標に達することができなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗の育成不良等の影響より種苗の輸送数が当初計画していた数より減少しているため、生産者及び栽培漁業センターと調整する必要がある。 ・近年の温暖化による近年の海水温の上昇が、鯖等および養殖魚類の不漁の要因の一つと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・販路を多様化するため、魚食普及のイベント等へ積極的に参加し、販売促進の拡大を目指す。 ・生産者、八重山漁協から種苗及び冷凍餌の要望数を早期に聞き取りし、事業の遅延が無いよう円滑に実施する。 ・海水温度の変化等環境に対応出来る強い種の導入を栽培漁業センター等と連携し検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・地元での魚食普及イベントの開催や沖縄本島での促進販売イベント等に参加。 ・種苗及び冷凍餌の仕入れについて、早期に計画を立て、遅れが無いように円滑な事業実施に取り組む。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
933	933	746	187	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は補助金交付対象を交付要綱に定めており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○元々受益者負担があり、一部補助であるので、妥当であると考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		石垣市					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	平和推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(1)-イ			
担当部署名	市民保健部	平和協働推進課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖繩戦の実相・教訓の次世代継承		
					III-3-(1)		
事業内容	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、慰霊祭、平和フォーラム等を開催するとともに、児童生徒を対象として平和を考える作文及び絵画コンクールを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,660	2,674	2,576	2,742	2,730
		(b) 予算現額	1,671	1,758	2,576	2,742	2,733
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 989	▲ 916	0	0	3
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計 (b+d)		1,671	1,758	2,576	2,742	2,733
	B. 執行済額		1,164	1,205	2,042	2,033	2,094
	うち交付金充当額		930	963	1,633	1,626	1,675
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		69.7%	68.5%	79.3%	74.1%	76.6%
予算の状況の説明		・補正については、長崎市内への宿泊において、宿泊税が発生したため事業費の増額である。 ・不用額については、平和を考える絵画作文コンクール、沖縄慰霊の日関連事業、平和フォーラムなどの執行残等である。					
活動目標（指標）及び達成状況	R6活動目標（指標）		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	児童生徒を対象とした「平和を考える作文」「平和を考える絵画」コンクールの実施	目標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	広島・長崎への平和大使派遣	目標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
		実績		実施	実施	実施	
慰霊祭、平和フォーラム等の開催	目標	（ 開催 ）	（ 開催 ）	（ 開催 ）	（ 開催 ）		
	実績	開催	開催	開催	開催		
達成状況説明	・児童生徒を対象とした「平和を考える」絵画・作文コンクールを開催し、絵画に136点、作文に21点の応募があった。 ・平和を考える作文の上位2名を広島へ、絵画の上位2名を長崎へ石垣市平和大使として派遣し、全国から集まる同年代の児童・生徒と意見交換・交流を行うことで、平和意識の向上を図ることができた。 ・慰霊祭（参加者520名）、平和フォーラム（参加者120名）を開催した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R6成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）
	平和に対する理解が深まったか（80%以上）を含め、コンクールや催事に参加した児童生徒を対象としたアンケートにより本事業の在り方について検証する	目標	（ ）	（ 80% ）	（ 80% ）	（ 80% ）	（ ）
		実績		92%	89%	82%	
	慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数延べ740名以上	目標	（ ）	（ 740人 ）	（ 740人 ）	（ 740人 ）	（ ）
実績			465人	754人	797人		
進捗状況説明	・アンケートを実施したところ、「平和に対する理解が深まった」と回答した割合は82%となり、目標である80%を達成することができた。特に、平和フォーラムにおいて、島内外より戦争体験者や学芸員の方を講師に迎えたことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えてもらう機会を創出することができた。 ・絵画コンクールにおいて、応募者が昨年度の約2倍に増加したことにより、「慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数」の目標を達成することができた。						

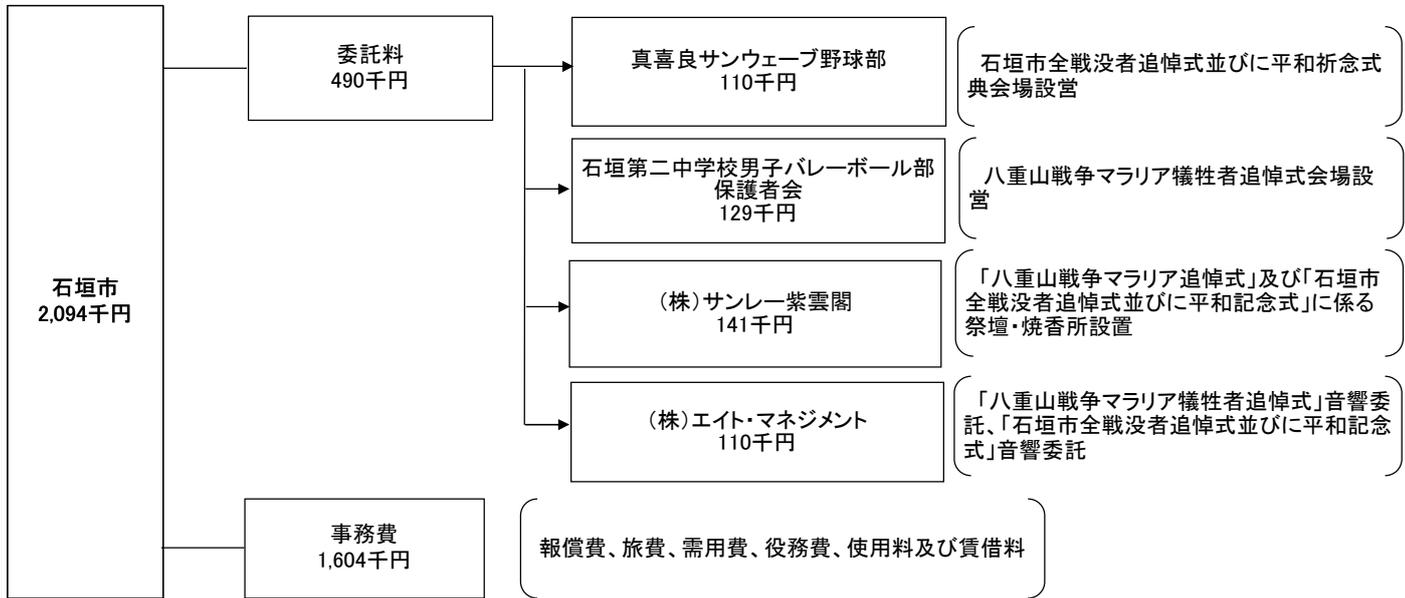
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象とした絵画コンクールに比べて、中学生・高校生を対象とした作文コンクールへの応募者数が少ないため、周知・広報の充実を図る必要がある。 戦争体験者の高齢化により、戦争体験を語り継ぐ人が少なくなっている中、戦争の記憶の風化が危惧されている。 	<ul style="list-style-type: none"> コンクールへの応募者数について、本市のホームページや公式SNSを積極的に活用し、周知・広報に注力することで、増加が見込まれる。 令和7年度は、戦後80年という節目の年でもあるので、イベントの企画や平和フォーラムの開催規模の拡大を検討し、より多くの市民に戦争や平和について学び、考えてもらう機会を提供することで、次世代への継承に繋がると考えられる。

今後の取り組み方針

- コンクールやイベントの周知・広報に力を入れる。
- 平和フォーラムの開催規模や内容を見直し、幅広い世代の方に関心をもってもらえるよう努める。
- 各関係機関と連携を図り、資料の収集及び戦争体験の証言や伝承活動、平和推進活動に携わっている方の情報収集に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,094	2,094	1,675	419	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、複数の業者から見積書を徴収し、より安価な業者を選定したもので妥当であったと考えられる。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目・使途は事業目的に即し、必要最小限及び効果的に執行している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-③	石垣市発達支援システム事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(5)-イ			
担当部課名	教育部 学校教育課 市民保健部 健康福祉センター	事業実施 (予定)年度	平成28～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	障害のある人が活動できる地域 づくり Ⅲ-3-(1)		
事業内容	発達の気になる子の早期発見・早期支援に取り組むため、乳幼児期から就労までのそれぞれのライフステージに応じた発達支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額		15,381	1,233	1,749	1,654
		(b) 予算現額		7,194	1,233	1,749	925
		(c) 増減額(b-a)		▲ 8,187	0	0	▲ 729
		(d) 繰越額		—	—	—	—
		A. 計(b+d)		7,194	1,233	1,749	925
		B. 執行済額		6,360	315	822	671
		うち交付金充当額		5,087	252	657	536
		次年度繰越額		0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)		88.4%	25.5%	47.0%	72.5%
	予算の状況の説明	・補正については、健診および保育所巡回回数や臨床心理士の確保に時間を要したことによる減額である。 ・不用額については、心理専門職の確保が難しく相談業務の委託が11月開始となったことによる執行残である。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	心理専門職による発達に係る各種相談の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
【参考】地域子育て相談員5人の確保	目標	(5人)	()	()	()		
	実績	5人					
達成状況説明	(健康福祉センター) R6年4月からR7年3月に心理専門職(公認心理師)に発達支援相談業務を委託し、1歳6か月児健診、3歳児健診、保育施設巡回相談を実施した。 (学校教育課) ・石垣市在住の心理専門職(公認心理師)に業務を委託し、訪問相談及び保護者の希望に応じて発達検査を実施した。要請のあった学校では、対象児童の行動観察及び面談等を行い、本人、保護者、学校の困り感に対して、専門的な観点から個人の特性に応じた助言や支援を実施した。また、必要と思われる児童の保護者へは、福祉等関係機関へのつなぎ(助言)を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	乳幼児健診(1歳6か月児・3歳児)等において発達要フォロー児と判断された乳幼児について、1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合:15%以上	目標	()	(15%)	(15%)	(15%)	()
		実績		24%	36%	43%	
	心理専門職等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
実績			100%	100%	100%		
進捗状況説明	(健康福祉センター) 令和6年度に1歳6か月児健診と3歳児健診を受診した乳幼児は合計858人で、その中で発達要フォロー児と判断された乳幼児は102人であった。その内、44人を支援に繋げることができその割合は43%であった。 (学校教育課) ・令和6年度の小中学校からの要請は15件あり、校種別の内訳は小学校が15件、中学校が0件であった。 ・支援を行った児童の担任、保護者を対象にアンケート調査を実施し、事業の満足度を確認した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(健康福祉センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた時間の中で対応するため、心理専門職の質の高いアセスメント能力が必要。 発達要フォロー児を判断するための理論的根拠が明確でない。 <p>(学校教育課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者や担任へのアンケートからは、児童生徒の今後の支援方法について「具体的なアドバイスがもらえて良かった」などの肯定的な意見が多かった。特に保護者からは「家庭での関わり方が分かった」などの意見が多かった。「今後も相談したいと思うか」の質問には、100%肯定的な意見があり、保護者や学校の望ましい支援体制を模索するためにも、本事業継続及び早期からの事業スタートの必要性を感じた。 	<p>(健康福祉センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他専門職(医師、保健師、栄養士等)の所見を総合的に判断し、保護者への聞き取りの内容を妥当性をあげ、アセスメント精度を上げる。 健診時にアセスメントが難しいケースは、個別発達相談等で理論的根拠が明確な発達検査を実施できるように案内する。(学校教育課) <p>(学校教育課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者や担任へのアンケートからは、児童生徒の今後の支援方法について「具体的なアドバイスがもらえて良かった」などの肯定的な意見が多かった。特に保護者からは「家庭での関わり方が分かった」などの意見が多かった。「今後も相談したいと思うか」の質問には、100%肯定的な意見があり、保護者や学校の望ましい支援体制を模索するためにも、本事業継続及び早期からの事業スタートの必要性を感じた。

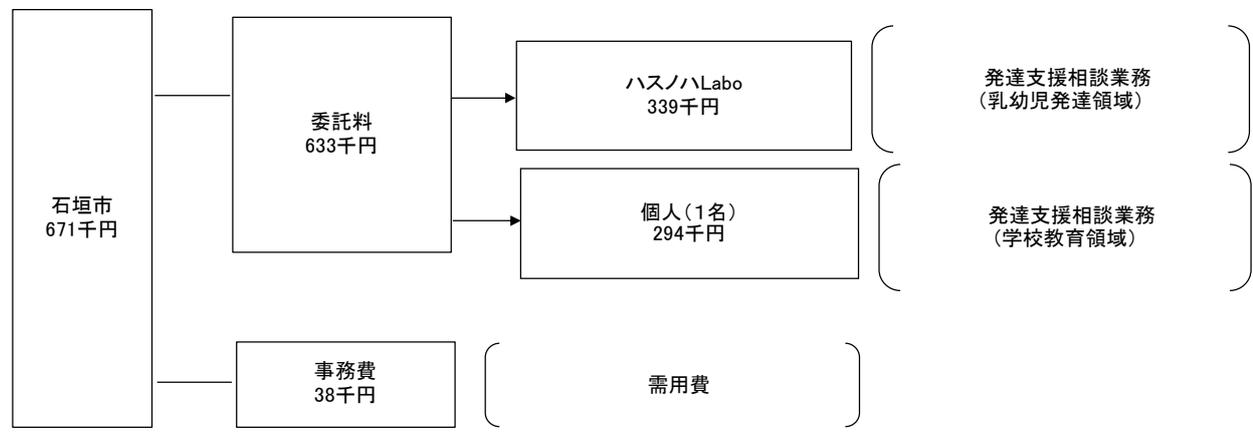
今後の取り組み方針

(健康福祉センター)
それぞれの健診時の発達支援相談を2名体制で行うとともに、発達要フォロー児と判断した根拠について情報を共有し、確実な聞き取りを行うためのマニュアル等を整備し、アセスメント精度を上げるよう努めていく。

(学校教育課)
・上記、改善余地の検証をもとに、令和6年度内で心理専門職に委託の内諾を得ることができた。
・令和7年度は委託契約が完了次第、事業を開始する。ただし、年度当初は各学校において対象児童生徒およびその保護者と信頼関係を築くことが大切であり、また、各学校においても十分に特性や行動観察を行う必要があることから、事業の開始は5月以降とする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
671	671	536	135	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、委託先については、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約としており、妥当であったと考えられる。 ○予算規模は、必要経費内で執行し、事業内容に沿った適正な規模であった。 ○費目・使途についても、目的に即した必要なものであると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

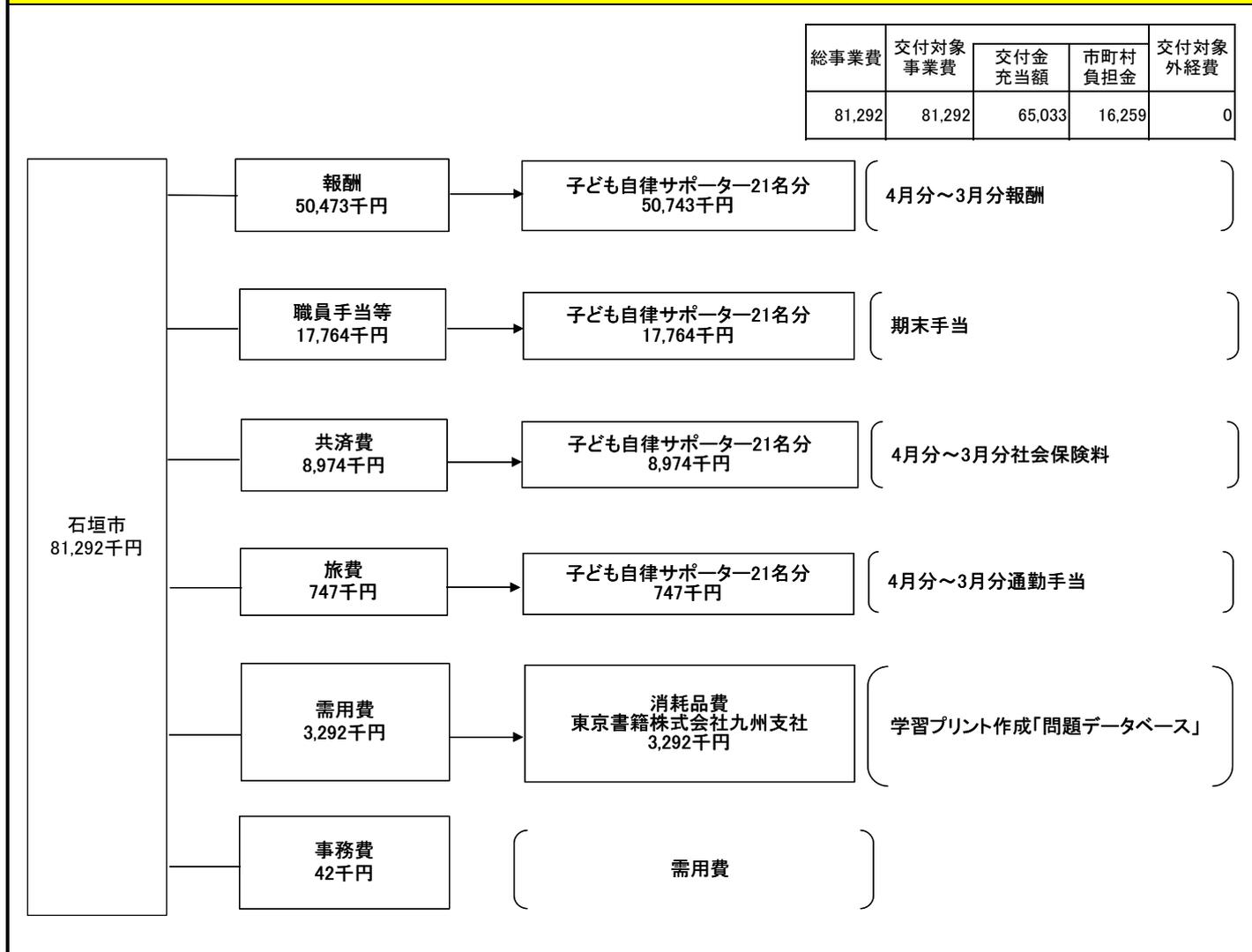
市町村名	石垣市		令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】				
事業番号・事業名	5-④	児童生徒の自律支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア			
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の自己肯定感の向上や自律的学習習慣の定着を図るための学習支援を行うことを目的とし、子ども自律サポーターを配置する。授業中の学習支援や放課後・長期休業中の補習支援、個別支援が必要な児童生徒への学習支援を行う。その他、学校教育活動において学校長が児童生徒の支援が必要と認める業務を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	(a) 当初予算額	109,701	120,753	104,451	80,856	85,071	
	(b) 予算現額	106,309	120,753	72,139	65,974	89,800	
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,392	0	▲ 32,312	▲ 14,882	4,729	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
	A. 計 (b+d)	106,309	120,753	72,139	65,974	89,800	
	B. 執行済額	105,591	111,718	66,222	62,572	81,292	
	うち交付金充当額	84,472	89,373	52,977	50,057	65,033	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)	99.3%	92.5%	91.8%	94.8%	90.5%	
予算の状況の説明	補正額については、人事院勧告に基づく給与改定による増額である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	子ども自律サポーターの配置	目標	()	(32名)	(24名)	(21名)	
		実績		22名	20名	21名	
	【参考】授業時並びに放課後学習支援 (学校教育支援員配置数32名)	目標	(32名)	()	()	()	
		実績	32名				
	【参考】外国語活動と英語指導支援 (外国語学習支援員配置数:小学校4名、中学校2名)	目標	(小学校4名 中学校2名)	()	()	()	
実績		小学校3名 中学校2名					
【参考】学力先進地域交流招聘実施 (学力先進地域交流研修会:招聘2名)	目標	(3名)	()	()	()		
	実績	0名					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 市内小・中学校の計11校へ子ども自律サポーターを配置し、授業での学習支援、個別に支援が必要な生徒への別室での学習支援、放課後や長期休業中の補習支援を実施した。 今年度21名の子ども自律サポーターを配置したが、多様な子供たちへの対応に向け、未配置の小・中学校を含め、より多くの小・中学校への配置や増員を望む声が多くあった。 						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)	
	自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)との回答割合:児童36%以上、生徒30%以上	目標	()	(児童36% 生徒30%)	(児童36% 生徒30%)	(児童36% 生徒30%)	()
		実績		児童45.5% 生徒38.0%	児童42.7% 生徒37.0%	児童42.1% 生徒32.5%	
	課題の解決に向けて自ら考え、自ら取り組んでいるとの回答割合:児童30%以上、生徒30%以上	目標	()	(児童30% 生徒30%)	(児童30% 生徒30%)	(児童30% 生徒30%)	()
		実績		児童38.8% 生徒27.0%	児童31.0% 生徒25.7%	児童35.0% 生徒23.2%	
	家庭で計画を立てて勉強しているとの回答割合:児童35%以上、生徒20%以上	目標	()	(児童35% 生徒20%)	(児童35% 生徒20%)	(児童35% 生徒20%)	()
		実績		児童37.4% 生徒17.9%	児童35.7% 生徒16.3%	児童31.8% 生徒14.1%	
進捗状況説明	令和6年度第2回沖縄県児童生徒質問紙調査(小学校4～6年・中学校1～3年実施)によると、上記3指標のうち目標を上回ったのは、小学校において2つ、中学校においては1つのみとなった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校ともに自己肯定感に関して肯定的に捉えている児童生徒が多い。子ども自律サポーターは、授業支援において、児童生徒に寄り添ったきめ細やかなサポートを行っており、達成感や自信につながっていると考えられる。 ・家庭学習に関しては、成果目標及び昨年度より数ポイント下回る結果となったが、小学校においては、学習課題に向けて主体的に取り組む児童が昨年度より増加しており、今後、その姿勢が家庭学習を含む授業以外の自学習の充実につながると考える。 ・中学校においては、課題解決に対する姿勢や授業以外での自発的学習習慣の定着が弱く、その実現に向けて子ども自律サポーターをはじめとする支援が必要である。学校からもその要望が強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の管理職や学力向上推進担当と調整を行い、子ども自律サポーターの効果的な活用について連携を深めていく。 ・各小・中学校の実態等に応じて、支援を必要としているより多くの児童生徒にサポートが届くよう、子ども自律サポーターの適正な配置に努めていく。

今後の取り組み方針

特に、自発的学習習慣の定着を図るための学習支援が必要であることから、各学校との連携や子ども自律サポーター対象の研修会等を通じて、支援員の資質向上を図るとともに、子ども自律サポーターを学校の実態や規模等に応じて必要数を検討し、配置できるよう努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員については、石垣市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等に基づき、任用しており妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、用途については、精算段階で検査を行っており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市		令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】				
事業番号・事業名	5-⑤	外国語学習支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア			
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の英語に対する興味・関心の向上を図るため、小学校・中学校へ外国語学習支援員を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	109,701	120,753	15,872	15,921	21,438
		(b) 予算現額	106,309	120,753	14,611	15,921	22,039
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,392	0	▲ 1,261	0	601
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計 (b+d)		106,309	120,753	14,611	15,921	22,039
	B. 執行済額		105,591	111,718	13,609	15,493	21,451
	うち交付金充当額		84,472	89,373	10,886	12,395	17,160
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		99.3%	92.5%	93.1%	97.3%	97.3%
予算の状況の説明		補正額については、人事院勧告に基づく給与改定による増額である。					
活動目標（指標）及び達成状況	R6活動目標（指標）		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	外国語学習支援員の配置：5名	目標	()	(5名)	(5名)	(5名)	
		実績		5名	5名	5名	
	授業時並びに放課後学習支援（学校教育支援員配置数32名）	目標	(32名)	()	()	()	
		実績	32名				
	外国語活動と英語指導支援（外国語学習支援員配置数：小学校4名、中学校2名）	目標	(小学校4名 中学校2名)	()	()	()	
実績		小学校3名 中学校2名					
学力先進地域交流招聘実施（学力先進地域交流研修会：招聘2名）	目標	(2名)	()	()	()		
	実績	0名					
達成状況説明	市内全小・中学校へ外国語学習支援員5名を派遣することで、生きた英語に多く触れさせ、英語に対する興味・関心の向上を図ることができた。外国語学習支援員5名の内訳として、小学校へは市直接雇用の支援員3名、中学校へは業務外部委託による2名を派遣した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R6成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）
	英語への興味・関心があると回答をした児童生徒の割合（80%以上）を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		67%	58%	58%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の英語に対するアンケートでは、「興味・関心がある」の回答が58%であり、成果目標は未達成となったが、「どちらかと言えば興味・関心がある」の肯定的な回答を含めると100%となった。 市内19の小学校へ市直接雇用の外国語学習支援員を派遣し、小学校3～4年生の外国語活動（英語）、5～6年生の外国語科（英語）において、授業支援を行うことで、英語への興味・関心を高めることができた。学校規模に応じて隔週での訪問校があった。 市内9の中学校へ業務外部委託先より外国語学習支援員を派遣した。外国語（英語）の授業以外にも学校生活の参画を行い、学習支援において専門性の高い外国語学習支援員を週1回以上派遣することで、生きた英語に触れる機会の拡充により英語への興味・関心を高めることができた。 						

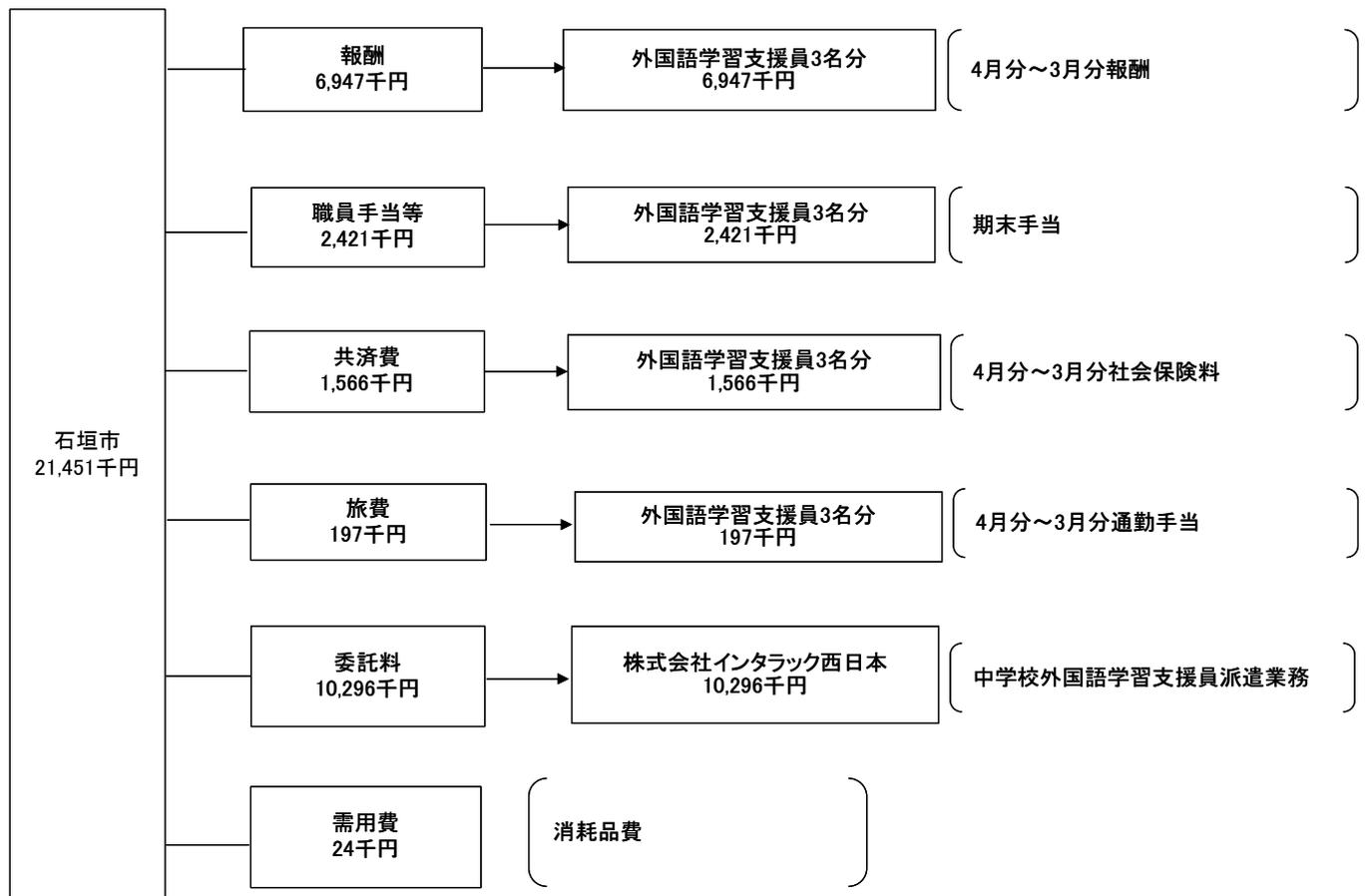
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・小学校3～4年生の外国語活動は週1回、5～6年生の外国語科は週2回行われているが、毎回の授業に外国語学習支援員の派遣ができていない。市内中学校と同様に、小学校へも毎週の訪問を実現するために、訪問回数の増加及び支援員の増加を含めた検討が必要である。</p>	<p>・児童生徒の英語への興味・関心をより高めるため、小学校中学年の外国語活動から、高学年・中学校の外国語科へとそれぞれの学習支援の接続を図り、より充実した外国語教育を推進していくために学校の担当や支援員間の連携を図る。</p>

今後の取り組み方針

小・中学校の学級担任や英語専科指導教員、教科担任と連携を図りながら、外国語活動や外国語科の授業での外国語学習支援員活用に向け、研修会での指導・助言やTeamsによる情報共有を図り、外国語(英語)に高い興味・関心を持ち、英語でコミュニケーションを行う児童生徒の育成に向け、支援を進めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
21,451	21,451	17,160	4,291	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員(学校教育支援員、外国語学習支援員)については、石垣会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等に基づき、任用しており妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、使途については、精算段階で検査を行っており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

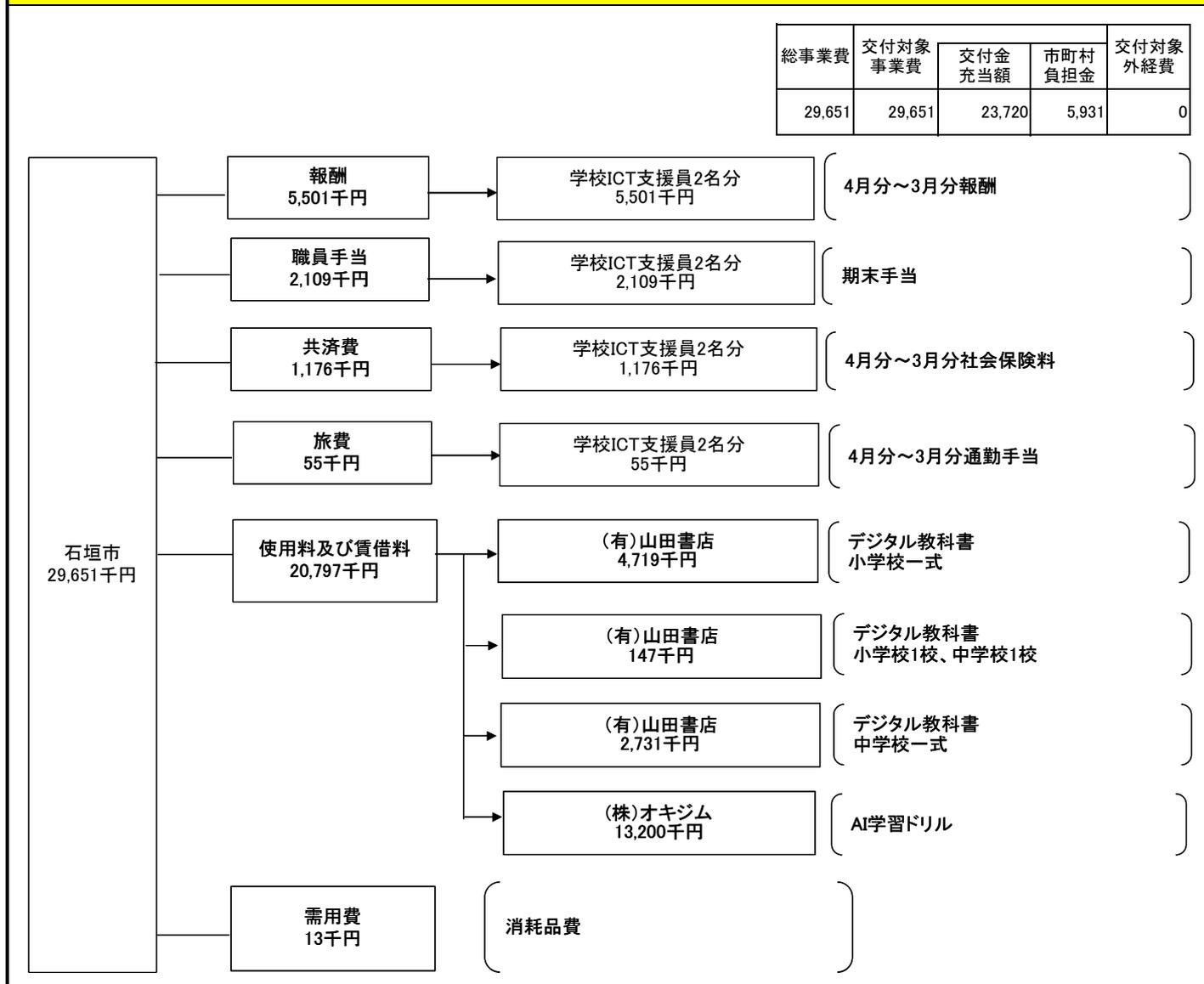
市町村名	石垣市						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑥ 情報教育充実事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所					
担当部署名	教育部 学校教育課	事業実施（予定）年度 平成24～令和13年度					
		沖縄振興基本方針該当箇所					
		第4章-5-(3)-イ Society5.0に対応する教育の推進					
		Ⅲ-3-(1)					
事業内容	ICT機器を使用した分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置するとともに、ICT機器やデジタル教材の整備、情報教育セキュリティサーバーの導入並びに教職員への研修会等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	24,857	18,840	72,438	31,219	30,034
		(b) 予算現額	24,447	18,840	37,304	27,209	30,844
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 410	0	▲ 35,134	▲ 4,010	810
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	24,447	18,840	37,304	27,209	30,844
		B. 執行済額	24,064	17,139	35,850	26,627	29,651
		うち交付金充当額	19,250	13,710	28,679	20,833	23,720
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	98.4%	91.0%	96.1%	97.9%	96.1%
	予算の状況の説明	補正額については、人事院勧告に基づく給与改定による増額である。					
活動目標（指標）及び達成状況	R6活動目標（指標）	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	学校ICT支援員の配置：2名	目標	(2名)	(2名)	(2名)	(2名)	
		実績	2名	2名	2名	2名	
	教職員研修会の実施（定期研修会8回/年）	目標	(7回)	(7回)	(8回)	(8回)	
		実績	5回	8回	8回	8回	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 学校ICT支援員の配置については、目標どおり2名配置。各校への計画的な訪問支援及び要請に応じた支援を実施した。 教職員を対象としたICT活用研修についても、目標どおり8回(5.6.7.9.10.11.1.2月)開催した。 						
成果目標（指標）及び進捗状況	R6成果目標（指標）	基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）	
	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		94.0%	94.0%	92%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用した授業が、児童生徒にとって分かりやすいものであるかについてのアンケート調査「わかる授業の実践状況調査(児童生徒アンケート)」を小学4年生及び中学1年生に実施した結果、平均92%(小学校で95%、中学校で89%)の肯定的回答を得た。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ICT支援員の配置や教職員を対象としたICT活用研修により、小・中学校における授業でのICT活用が推進されており、アンケート調査項目「GIGA端末を使った授業をもっと受けたいですか？」では、「もっと授業で使いたい」「どちらからかといえば使いたい」との肯定的回答が平均86.5%(小学校93%、中学校80%)と、児童生徒は意欲的である。 ・一方でアンケート調査「eライブラリ(AI学習ドリル)を使って勉強したことがありますか？」では、「週1以上利用している」との回答が、平均24.5%(小学校36%、中学校13%)とAI学習ドリルの日常的な活用が進んでいない状況がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AI学習ドリルは、児童生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じた学習に対応することができることから、授業での日常的な活用と併せて、家庭学習での活用も進めることが効果的であると考えられる。 ・AI学習ドリルの活用について、単元毎の活用は進んでいるが、日常的な活用をさらに推進していく必要があることから、授業開始時のウォーミングアップや小テスト、日常的な家庭学習や長期休暇時の課題としての活用に取り組む。

今後の取り組み方針

- ・学校ICT支援員による巡回訪問、各種研修、遠隔交流授業やプログラミング教育など、ICT機器を活用した授業の支援に継続して取り組んでいく。
- ・ICT機器を活用した授業の改善及び効率化等につなげるため、教職員研修会への情報担当教職員以外の教員の参加を推進していく。
- ・AI学習ドリルの活用方法については、授業での活用だけでなく家庭学習や長期休暇時の課題としての活用についても、先進事例等を交えた情報提供及び支援を行う。
- ・情報教育担当指導主事からの指導・助言を得ながら連携していくことで、授業改善や教材研究の効率化を引き続き図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明
点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員(学校ICT支援員)については、石垣市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等に基づき任用しており、妥当である。また、小学校のデジタル教科書については、本市が採用する教科書内容に沿い、かつ他事業者で取扱いが無いことから妥当である。中学校のデジタル教科書についても指名競争入札等により選定しており、妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施し、目的に即した必要なものであったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑦ 専門人材育成事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-5-(4)-ア		
	担当部署名	教育部 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成28～令和13年度	多様な職業能力の育成・開発	
		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)			
事業内容	本市の教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,067	2,177	2,617	1,015	1,752
		(b)予算現額	2,275	2,177	2,617	1,015	794
		(c)増減額(b-a)	▲792	0	0	0	▲958
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		2,275	2,177	2,617	1,015	794
	B. 執行済額		1,863	1,846	1,908	641	438
	うち交付金充当額		1,489	1,476	1,526	512	350
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		81.9%	84.8%	72.9%	63.2%	55.2%
予算の状況の説明		補正・不用額については、対策講座業務委託の精算に伴う執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	一般、教職教養、専門教科試験対策講座の開催		目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
			実績	実施	実施	実施	
達成状況説明	<p>前期の対策講座では1次試験対策として26回、2次試験対策として8回の合計34回の講座を開講した。今年度より試験実施日が早まったこともあり、講座の回数は減少したが、講座の内容としては予定通り実施することができた。</p> <p>後期の対策講座は当初の予定通り38回の講座を開講することができた。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	小学校での教員採用試験合格者数	目標	()	(前期7人)	()	(6人)	()
		実績		前期5人		4人	
	中学校での教員採用試験合格者数	目標	()	(前期8人)	()	(6人)	()
		実績		前期5人		2人	
	受講することで有効な試験対策ができたか(80%以上)を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
実績			85%	95%	100%		
進捗状況説明	<p>小学校で4名、中学校で2名の採用試験合格者を輩出することができた。また、養護教諭志望者(1次試験合格)や栄養教諭志望者も本講座に参加するなど、受験種目の広がりが見られた。不合格者の中には、合格点をわずかに下回る受講生もいたことから、事業の継続により、今後も継続した合格者の輩出が期待できる。</p> <p>また、受講者アンケートでは、満足度は100%であった。記述式のアンケート回答では「学習環境の提供や対策問題の内容が良い」などの回答が多かった。対策塾などがない本市における事業のさらなる充実と継続が必要であると考えます。</p>						

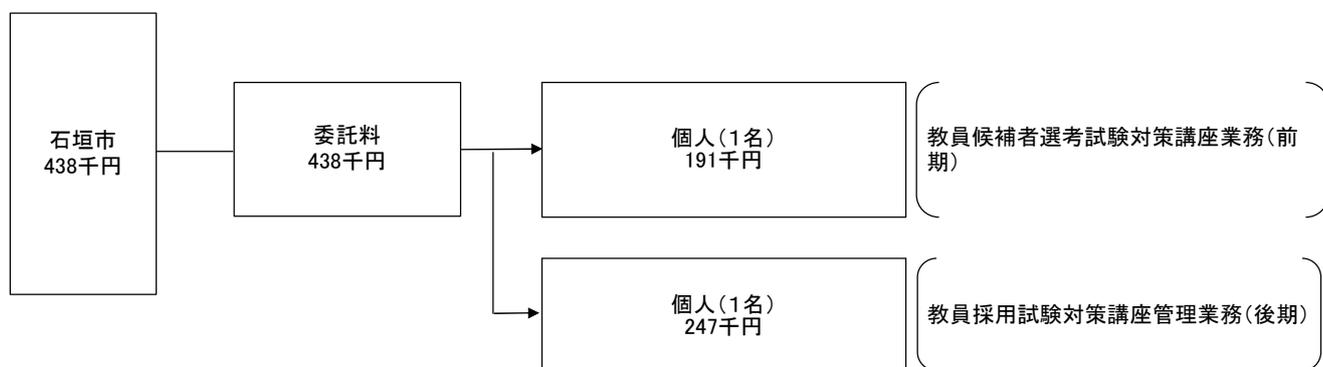
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・委託できる業者に限りがあり、本事業の継続的実施の大きな課題となっている。 ・今回の採用試験の不合格者に対して、情報提供などのフォローアップを行い、本事業の大きな狙いである「本市の教育を担う人材の育成」を継続していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託できる業者の開拓、ならびに専門教科等の講師の確保。

今後の取り組み方針

・教員採用試験受験希望者を対象とした予備校等のない石垣島においても、試験に向けて学べる場を引き続き設置し、教員を目指す者の経済面、情報面等の地理的ハンディを克服する。
 ・石垣島出身の教員を継続的に輩出することで、子供たちの教育を継続的・計画的に担う人材を育成する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
438	438	350	88	0



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘案した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結し、妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即したものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		石垣市					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑧ 姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-5-(3)-ア		
	市民保健部 平和協働推進課		事業実施(予定)年度	平成27~令和13年度	国際感覚を身に付ける養育		
担当部課名					III-3-(1)		
事業内容	国際交流を通して児童生徒の視野を広げるため、姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a) 当初予算額				3,419	4,502
		(b) 予算現額				4,104	4,502
		(c) 増減額(b-a)				685	0
		(d) 繰越額				-	-
		A. 計(b+d)				4,104	4,502
	B. 執行済額					3,644	3,698
	うち交付金充当額					2,898	2,958
	次年度繰越額					0	0
	執行率(%) (B/A)					88.8%	82.1%
予算の状況の説明		不用額については、旅費等の精算に伴う執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2~4年度	R5年度	R6年度	
	中学生のカウアイ郡派遣3名の実施		目標 (3名派遣)	()	(3名派遣)	(3名派遣)	
			実績	3名	3名	3名	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 市内の中学3年生を対象とした「石垣市長杯英語スピーチコンテスト」を開催し、20名の応募があった。 コンテストの上位3名をカウアイ郡へ派遣し、英語学習やハワイの文化を学ぶ研修を実施した。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R2~4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(100%)	(100%)	(80%)	()
			実績	100%	100%	100%	
	市内の生徒が、報告書を見て英語や外国に以前より興味を持ったか(80%以上)を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	()	(80%)	(80%)	()
			実績		68%	78%	
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合は100%となっており、目標を達成した。 報告書を読んだ生徒へのアンケートでは英語や外国語に以前より興味を持った生徒の割合は78%で目標未達となったが、昨年度より10%増加し、各生徒の英語学習への興味・関心が高まっていることが伺えた。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・引率者についてはR6年度より中学校教諭を引率者として派遣している。事前研修と2週間の派遣に確実に参加できる教諭の確保が必要である。 ・派遣生徒OBとの交流について、前年度派遣者との交流をR6年度より実施した。派遣内容についてOBにへ直接聞けることのほか、中学卒業後の派遣者の様子を確認できる良い機会である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引率者については、教育委員会より引率教諭を推薦をする体制をとっている。派遣日程が確定した段階で教育委員会へ情報提供を行い、引率教諭の推薦に要する期間を十分に確保する。 ・派遣者OBとの交流について、前年度派遣者3名全員が確実に参加できるよう時期や場所を設定することで、OB生徒の進路や英語学習への関心意欲の現況について、把握することが可能となる

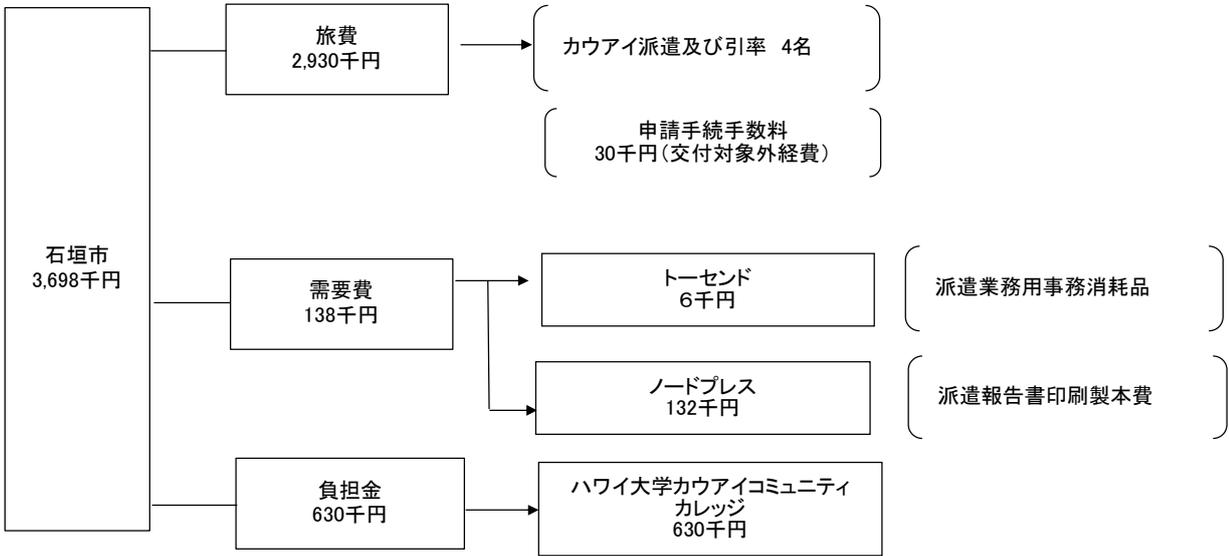
今後の取り組み方針

・引率者については、引率教諭の校務等の状況を踏まえたうえで教育委員会より推薦していただき、引率教諭と担当者の役割分担を明確にするよう取り組むことで、生徒の引率等における協力体制をしっかりと構築していく。

・派遣生徒OBとの交流については、卒業後の先輩の進路や活躍状況を知ることにより英語学習だけでなく、他教科への学習意欲向上及び高い目標設定が期待できることから、今後も継続して開催していくこととし、より多くの派遣生徒OBが参加しやすいよう、開催時期等の設定について検討を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,728	3,698	2,958	740	30



資金の流点、検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、「中学生英語スピーチコンテスト」で上位入賞を果たし、カウアイ派遣に意欲を持つ者を選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、本事業の主要経費である旅費について必要最小限のものであり適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑨ 石垣市小学生・中学生教育交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-4-(2)-ア		
	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展		沖縄振興基本方針該当箇所		III-3-(1)		
担当部課名	教育部 いきいき学び課		事業実施(予定)年度	平成28～令和8年度			
事業内容	異文化に触れることで児童生徒の視野を広げるため、台湾蘇澳鎮及び岩手県北上市の小学生・中学生と相互教育交流を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a) 当初予算額				4,748	7,783
		(b) 予算現額				4,748	7,783
		(c) 増減額(b-a)				0	0
		(d) 繰越額				-	-
		A. 計(b+d)				4,748	7,783
	B. 執行済額					3,466	6,813
	うち交付金充当額					2,772	5,450
	次年度繰越額					0	0
	執行率(%) (B/A)					73.0%	87.5%
予算の状況の説明		執行残については、蘇澳鎮派遣にかかる委託料等に伴う減額によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2～4年度	R5年度	R6年度	
	・台湾蘇澳鎮児童生徒との教育交流(受入・派遣)	目標	(実施)	()	(実施)	(実施)	
		実績	実施		実施	実施	
	岩手県北上市との教育交流(受入・派遣) ※隔年実施	目標	()	()	(実施なし)	()	
実績				実施なし			
達成状況説明	・台湾蘇澳鎮との派遣・受入において相互の教育交流をすることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R2～4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			100%	85%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・本事業は感受性の高い小学生高学年及び中学生を対象とすることで、意識の変化を促し、事業参加以降の学校生活や海外・異文化への興味関心を促すことができた。今後も継続実施することが重要である。						

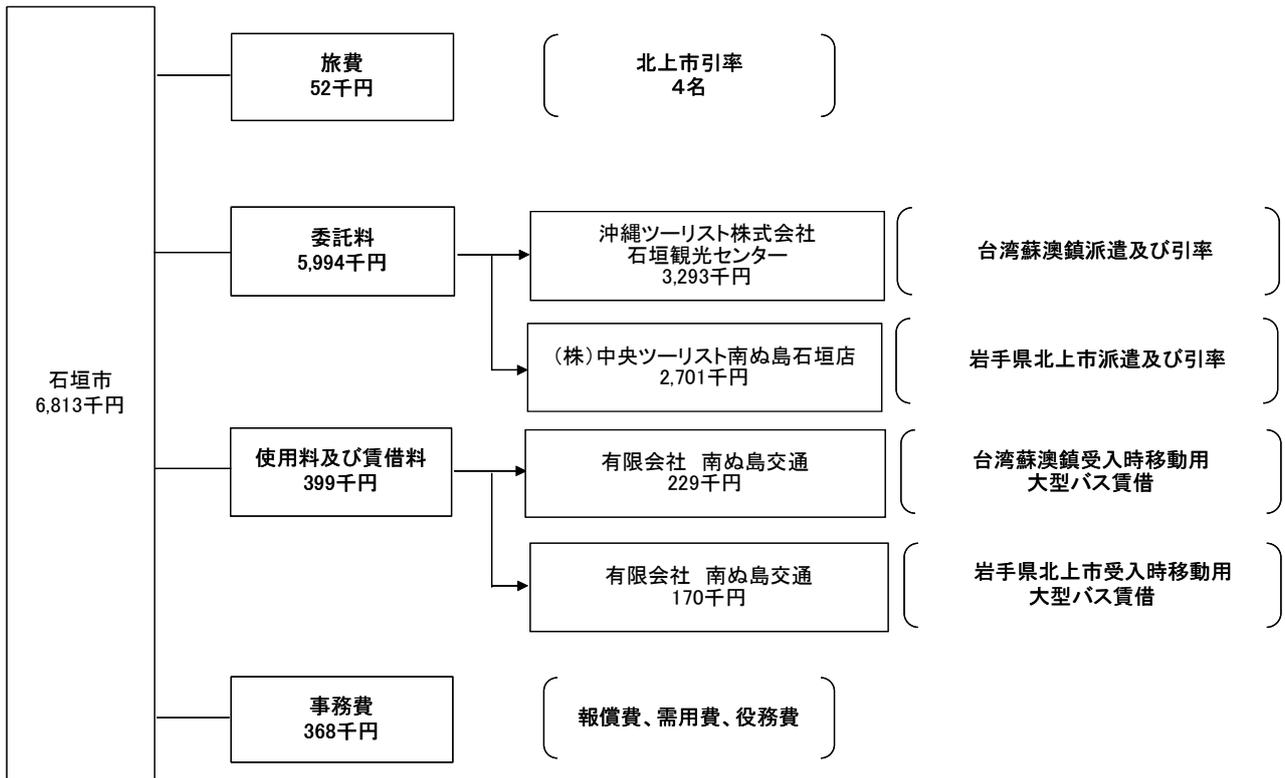
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 台湾蘇澳鎮の募集定員は、小学生10名・中学生20名であったが、令和6年度においては小学生2名、中学生24名で小学生の参加が極端に少なかった。 また、中学生においても女子生徒の参加が多く、台湾蘇澳鎮の参加児童生徒とのホームステイの組合せに調整を要した。 学校行事や部活動の調整等もあり、事前事後学習の参加が難しい生徒もいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期の募集を行うことで、小学生及び男子生徒の応募者数の増加を図る。 早期の事業計画を行うことで、学校側との調整を行う タブレット端末を使用することで、事前事後学習に参加できない児童生徒であっても、学習可能な機会に努める。

今後の取り組み方針

・事前事後学習会のなかで、端末を利用し効率的な学習を行う。
 ・台湾蘇澳鎮の受入において、学校受入交流の時間を増やし、参加者以外の児童生徒についても異文化に触れ合う機会を作ることで事業効果をあげる。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,813	6,813	5,450	1,363	0



資金の流 れ、費 用 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、本市財務規則に基づき、指名競争入札等により行い、妥当であったと考える。 ○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑩ 不登校対策等支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-5-(2)-イ		
	教育部 いきいき学び課		事業実施(予定)年度	平成30～令和13年度	沖繩振興基本方針該当箇所		
担当部署名	教育部 いきいき学び課		平成30～令和13年度		Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の不登校の改善を図るため、スクールライフサポーターを学校に配置するとともに、学校と連携し、居場所づくりなど必要な支援策を講ずる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,289	6,669	20,383	26,439	39,143
		(b) 予算現額	6,409	6,669	18,233	26,439	37,372
		(c) 増減額(b-a)	120	0	▲ 2,150	0	▲ 1,771
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	6,409	6,669	18,233	26,439	37,372
	B. 執行済額		6,331	6,360	17,838	25,577	33,341
	うち交付金充当額		5,064	5,087	14,270	20,461	26,672
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.8%	95.4%	97.8%	96.7%	89.2%
予算の状況の説明		・補正については、配置予定人数に達しない期間に伴う減額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	スクールライフサポーターの配置:10名	目標	(2名)	(6名)	(8名)	(10名)	
		実績	2名	6名	8名	9名	
	学校生活支援、復学支援の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
実績		実施	実施	実施	実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 石垣市教育委員会いきいき学び課青少年係(青少年センター)内にスクールライフサポーターを配置し、小学校6校、中学校3校、計9校に1名ずつ配置した。 学校生活支援、復学支援の実施のため、支援内容を段階別で示した指標を作成し、効率的に支援を実施、不登校率の減少につながった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	不登校率の減少:0.3%以上	目標	()	(0.3%)	(0.3%)	(0.3%)	()
		実績		対象合計1.78%増 対象小学校計0.41%増 対象中学校計4.39%増	対象合計2.49%増 対象小学校計1.65%増 対象中学校計1.04%増	対象合計0.15%減 対象小学校計0.11%増 対象中学校計0.43%減	
	進捗状況説明	令和6年度スクールライフサポーターを配置した対象校で不登校率は昨年度より0.15ポイント減の6.16%であった。小学校では0.11ポイント増の3.51%、中学校では、0.43ポイント減の10.54%となった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>令和6年度の石垣市全体の不登校数は、減少へと転向した。スクールライフサポーター配置校においては、目標値には届かず未達成となったが、全体の増減ポイントを下回る結果がでているため、状況の改善にはつながっていると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校がスクールライフサポーターに繋げる対象児童生徒について、学校ごとに繋げ方や繋げるタイミングが異なるため、支援児童生徒数にばらつきが見られる。 ・小学校と中学校では、職員体制が異なるため、支援内容に差が生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校渋りが始まった時点で、スクールライフサポーターにタイムリーにつなげることで、不登校未然防止に繋がると考えられるが、現在、各学校の判断に任せているため、各対象校によって支援対象者となるタイミングにばらつきがある。スクールライフサポーター支援対象者になる基準を決めることで、支援体制の強化につながると考える。 ・青少年センターを介して、小中学校各校の取り組みを紹介・周知することで、支援体制の標準化やよりより工夫が可能になると考えられる。

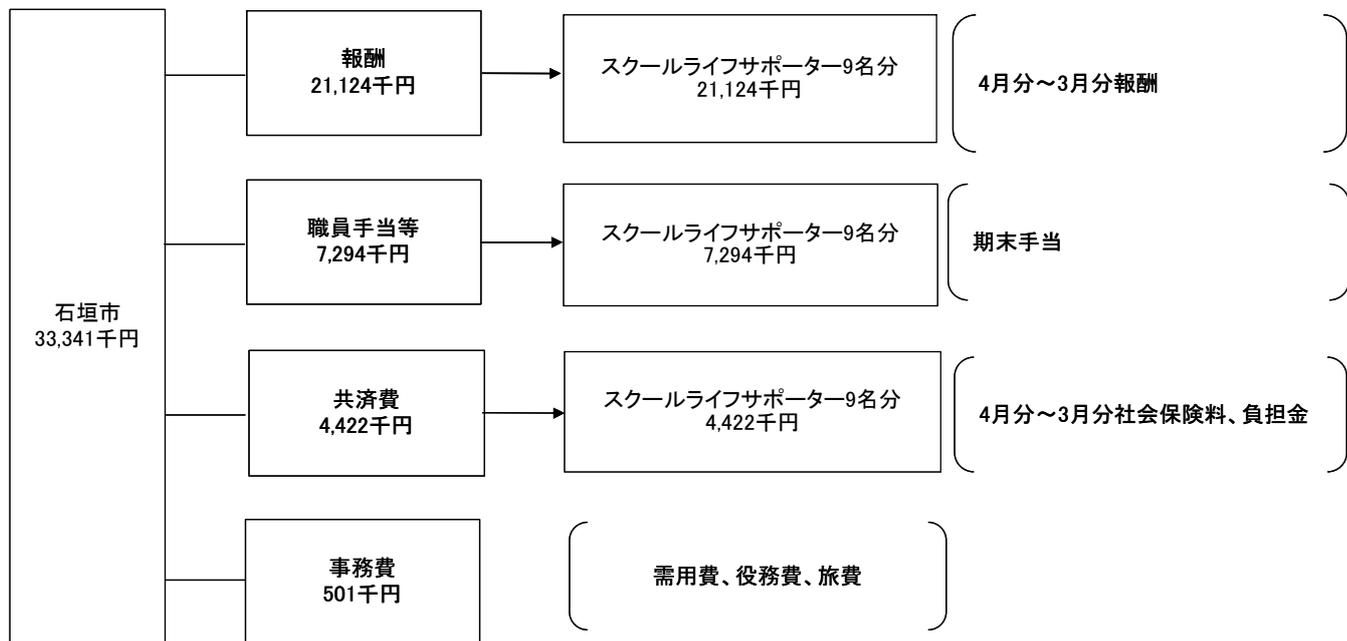
今後の取り組み方針

・スクールライフサポーター配置校を定期的に訪問し、現状把握や情報共有を行うことで、支援内容の標準化を目指し、よりより体制を構築できるよう取り組んでいく。

・令和6年度より、支援内容が可視化する取り組みとして、「対象児童生徒に会えない・家から出れない状態」をLv1から「支援を必要となくなった状態」をLv12と段階を分け、開始時と学期末ごとに、対象児童生徒毎にスクールライフサポーターが評価を実施。学校や学期で段階の上下はあるものの、全体の評価平均値は対象児童生徒の状態に改善がみられた。今後の新たな成果目標の数値としたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
33,341	33,341	26,672	6,669	0



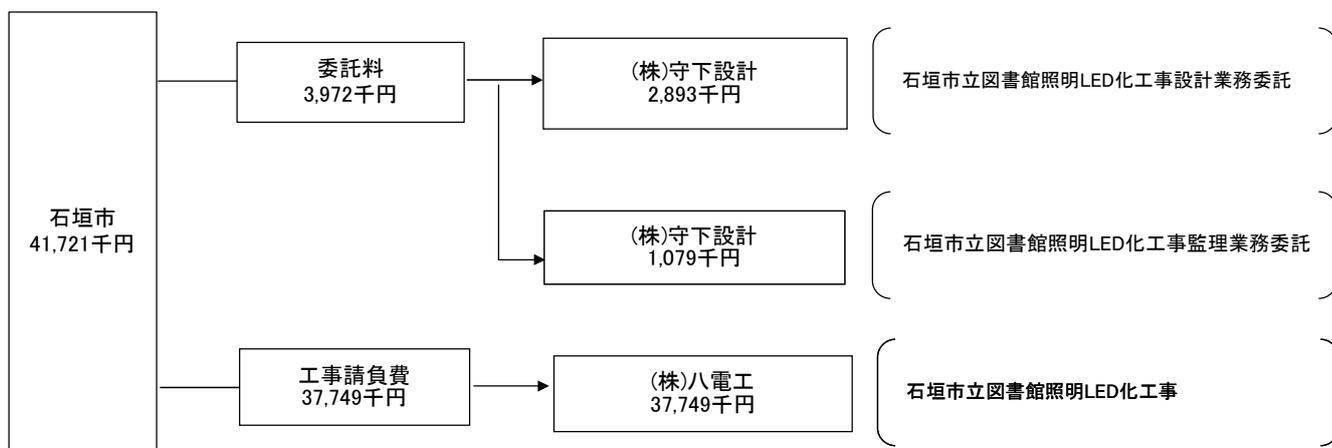
資金の流 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員(スクールライフサポーター)については、石垣市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等に基づき、任用しており妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即したものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑫ 石垣市省エネ推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-1-(4)-ア		
	担当部署名	図書館	事業実施 (予定)年度	令和5年度～R6年度	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	市内施設の省電力化を推進し、環境負荷の軽減および低炭素島しょ社会の構築を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R7年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況		R3年度	R4年度	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
		(a)当初予算額				13,704	
	(b)予算現額				13,704		42,442
	(c)増減額(b-a)				0		▲7,158
	(d)繰越額				-	8,161	-
	A.計(b+d)				13,704	8,161	42,442
	B.執行済額				5,542	7,458	41,721
	うち交付金充当額				4,434	5,966	33,376
	次年度繰越額				8,161	0	0
	執行率(%) (B/A)				40.4%	91.4%	98.3%
予算の状況の説明		業務は当初の計画どおり行われ、予算を適正に執行した。不用額は、入札後の契約残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	目標	()	()	()	()	(実施)	
・石垣市立図書館照明のLED化 824か所		実績				実施	
達成状況説明	・石垣市立図書館照明LED化工事 令和7年2月完了						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)
	・館内照明のLED化	目標	()	()	(43箇所)	(824箇所)	()
		実績			40箇所	791箇所	
	・LED照明導入後の館内使用電力量年間削減率	目標	()	()	()	()	(25.8%)
		実績					-
	・窓ガラスへの断熱・UVカットフィルム施工	目標	()	()	(144枚)	()	()
		実績			144枚		
	【R5成果目標】 ・LED照明導入後の館内使用電力量年間削減率	目標	()	()	()	(13%)	()
		実績				29%	
	【R5成果目標】 ・クーラーフル稼働月の使用電力量 削減率	目標	()	()	()	(44%)	()
実績					1%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 設計等により精査したところ、当初LED化を予定していた824箇所から791箇所へ変更となった。 LED照明導入後の館内使用電力量年間削減率については、目標の13%を上回る29%を削減できた。 クーラーフル稼働月の使用電力量については、目標の44%を下回る1%の削減となった。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 石垣市立図書館において、継続した節電対策を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の改修時における再生可能エネルギーの積極的導入を図る。 館内における空調機の効果的な運転を行う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 当事業は、R7年度において成果目標を検証することから、石垣市立図書館においては、閉架書庫など利用頻度が低い箇所をこまめに消灯するなど、照明の点灯時間の削減に努めていく。 今後も、第2期石垣市エコアイランド構想や第4次石垣市地球温暖化対策実行計画に基づき、継続してCO2削減を推進していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
41,721	41,721	33,376	8,345	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、専門性の高い業務であることから委託業務は地方地方自治法に基づき、随意契約とし、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

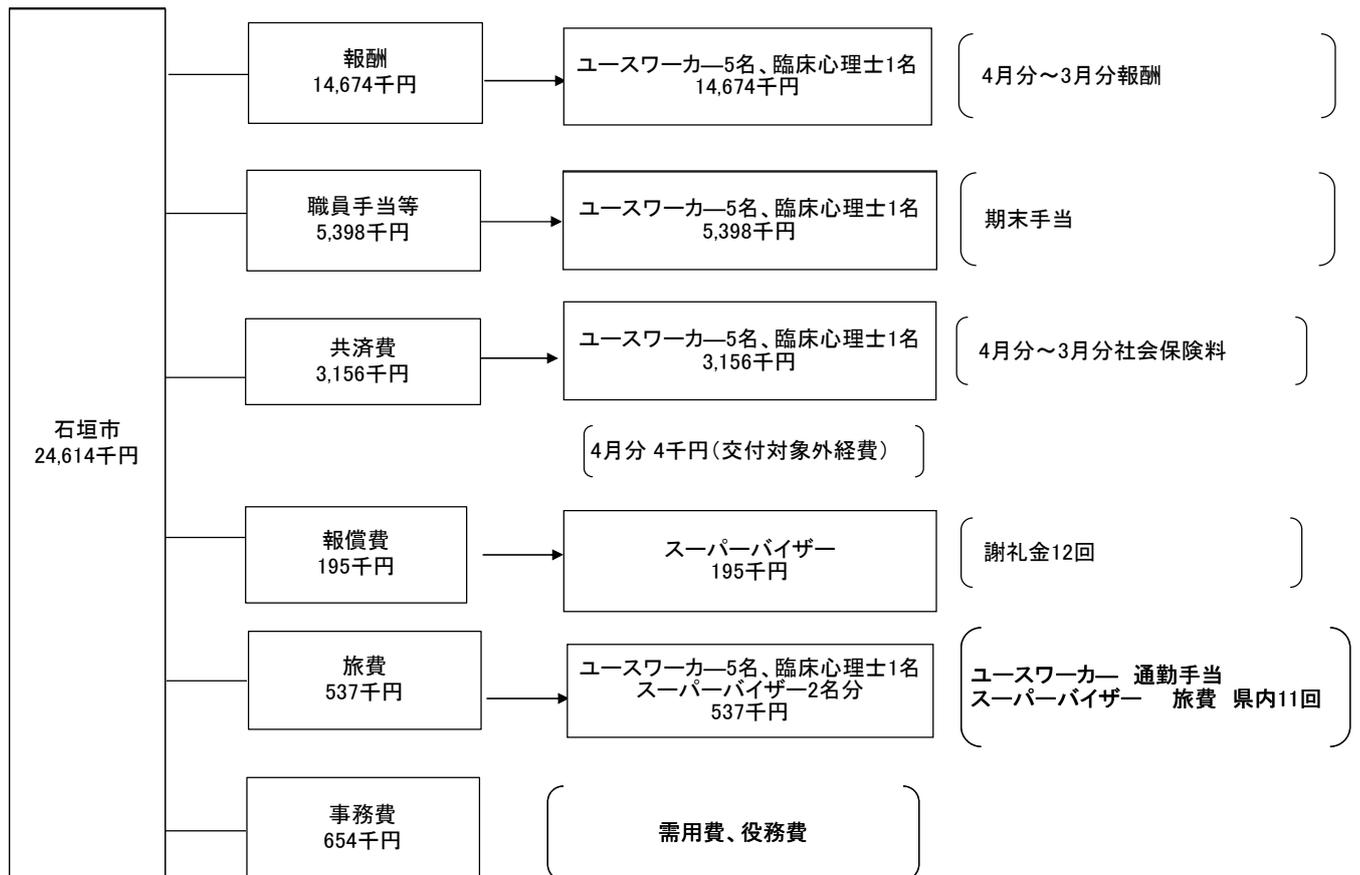
市町村名	石垣市						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 子ども若者総合相談支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所					
担当部署名	教育部 いきいき学び課	事業実施（予定）年度 令和元～令和13年度					
		沖縄振興基本方針 該当箇所					
事業内容	第4章-2-(2)-イ 子ども・若者の育成支援 Ⅲ-3-(1)						
事業内容	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者（不登校・引きこもり・ニート等）の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置し、対象者の相談業務を行うユースワーカーおよび臨床心理士を配置し、相談受付及び支援を実施する。また、スーパーバイザーを招聘し、支援に関わる関係者への指導、助言を行うスーパーバイズおよび支援対象者、保護者、関係者への個別相談を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,729	13,747	27,609	20,300	25,320
		(b) 予算現額	12,881	13,747	16,645	20,300	27,763
		(c) 増減額 (b-a)	152	0	▲ 10,964	0	2,443
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	12,881	13,747	16,645	20,300	27,763
		B. 執行済額	12,452	12,888	15,375	20,159	24,614
		うち交付金充当額	9,960	10,309	12,300	16,126	19,691
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	96.7%	93.8%	92.4%	99.3%	88.7%
	予算の状況の説明	補正額については、人事院勧告に基づく給与改定による増額である。					
活動目標（指標）及び達成状況	R6活動目標（指標）		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	ユースワーカーの配置：5人（R5まではユースアドバイザー）	目標	（ 4人 ）	（ 8人 ）	（ 6人 ）	（ 5人 ）	
		実績	4人	7人	6人	5人	
	臨床心理士の配置	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 1人 ）	
		実績	/			1人	
	相談窓口の設置	目標	（ 設置 ）	（ 設置 ）	（ 設置 ）	（ 設置 ）	
		実績	設置	設置	設置	設置	
	相談・支援業務の実施	目標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 石垣市教育委員会いきいき学び課青少年係（青少年センター）内にユースワーカーを5人配置した。 社会生活を営む上で困難を有する子ども若者へ子ども若者総合相談窓口を設置した。 臨床心理士をスーパーバイザーとして委嘱し、本市で社会生活を営むことの困難な子ども若者やその保護者、関係者に対して年4回の個別相談会の開催や、ユースワーカーや教育関係者、関係機関の職員を対象とした毎月1回のスーパーバイズも予定通り実施した。 						
成果目標（指標）及び進捗状況	R6成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）
	本事業で支援を受けた者の数：50名以上	目標	（ ）	（ 47名 ）	（ 50名 ）	（ 50名 ）	（ ）
		実績	/		53名	59名	103名
	支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合：50%以上	目標	（ ）	（ 46.0% ）	（ 50.0% ）	（ 50.0% ）	（ ）
		実績	/		56.6%	38.9%	43.0%
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・若者支援地域協議会のネットワークを活かした周知活動や、学校や関係機関との密な連携により相談から支援までスムーズな運営ができたため、支援を受けた者の数50名を大幅に達成した。支援を要しない状態となった者の割合については、困りごとの多様化により長期化傾向にあるため、前年より増加したものの目標は未達成となった。 臨床心理士の配置により、相談窓口機能の充実化が図れた。 					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターの体制変更に伴い、相談窓口と伴走支援の機能を分け、相談→支援の流れがより明確になったことで、早期支援が可能となり、支援を要しない状態になった者の割合が前年に比べ増加したと考えられる。 ・新しく設置されたユースワーカー業務内容や運用方法の整理に時間を要し、ユースワーカーの負担が大きかったため、定着化させる必要がある。 ・相談件数は前年に比べ増えた(59件→103件)。周知活動は継続して行っているが、活用方法がうまく伝わっていないと考えられる。 ・スーパーバイザーに対し、スーパーバイズの一環として年度初めに支援者研修を実施したことにより、ユースワーカーのボトムアップが図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容の多様化に伴い、支援を要しない状態になるまでの時間も長期化傾向にあり、年単位での終結が困難であるケースが増えているため、成果が見えづらい。成果目標を検討する必要があると考える。 ・周知活動はこれまでどおり行いが、周知内容を改善することで、より利用しやすい相談窓口となることで、利用者数増加につながるものと考えられる。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者総合相談窓口の周知活動を継続しつつ、活用方法も合わせて周知するなど、周知内容の改善を図り利用者増につながるよう取り組んでいく。 ・令和6年度より、より支援内容が可視化できるよう取組として、「支援対象者に会えない・家から出れない状態」をLv1から「支援を必要とくなった状態」をLv12と段階を分け、開始時と3ヶ月に1回、支援対象者毎に臨床心理士とユースワーカーで評価を行った。全体的に支援対象者の状態に改善がみられた。今後の新たな成果目標の数値としたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,618	24,614	19,691	4,923	4



資金の流点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○会計年度任用職員(ユースアドバイザー)については、石垣市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等に基づき、任用しており妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即したものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市		令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】				
事業番号・事業名	5-⑬	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア			
担当部署名	教育部 博物館	事業実施（予定）年度	平成24～令和9年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、虫食いや退色等により状態の良い古文書・絵画等を修復し展示等を行うとともに、修復した資料のデジタル化を行い、調査・研究等に活用する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（R10年度）						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,106			4,968	
		(b)予算現額	10,286			4,968	
		(c)増減額(b-a)	4,180			0	
		(d)繰越額	—			—	
		A.計(b+d)	10,286			4,968	
		B.執行済額	10,213			4,582	
		うち交付金充当額	8,170			3,665	
		次年度繰越額	0			0	
		執行率(%) (B/A)	99.3%			92.2%	
予算の状況の説明	不用額については、委託料等によるものである。						
活動目標（指標）及び達成状況	R6活動目標（指標）		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	所蔵資料の修復及び修復済資料のデジタル化	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	八重山博物館所蔵資料の内、喜舎場永珣調査ノート資料32点の修復、デジタル化を実施し、完了した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R6成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（R10年度）
	所蔵資料の修復及び修復済資料のデジタル化	目標	()	()	()	(32点)	(1,000人)
		実績				32点	—
	進捗状況説明	八重山博物館所蔵資料の内、今回事業の対象とした喜舎場永珣調査ノート資料は、令和6年度から令和9年度にかけて98点の修復・デジタル化を実施する予定である。今年度は計画通り、その内の32点について修復・デジタル化を完了することができた。令和10年度には修復を終えた当該資料を活用しての企画展を開催し、来場者1,000人を目指す。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 修復する喜舎場永珣調査ノート資料はノートそれぞれに状態のバラつきが見られ、修復を計画通りに進めるため、当該年度に修復する資料の選定を慎重に行う必要がある。 令和10年度に企画展を行う際は、来場者が目標数に達するよう開催の枠組みをしっかりと整える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該資料の状態を把握し、受託する事業者が決定した際には、当該年度に修復する資料の選定についての密な調整を検討する。 令和10年度の企画展開催に向けて、来館者増を図るため、メディアとの連携、企画展と連動するイベントの開催を検討する。

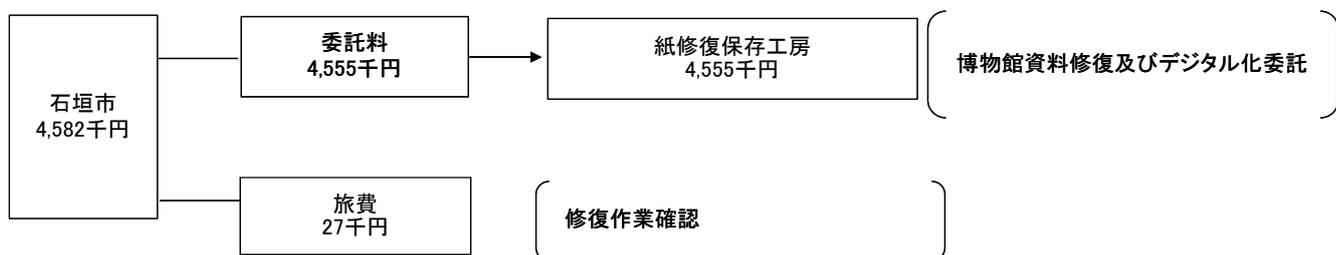
今後の取り組み方針

・喜舎場永珣調査ノート資料の状態把握に努め、修復にあたる事業者の入札等の作業を速やかに行い、選定された事業者と調整する時間を十分に確保した上で、事業が計画通りに完了できるよう取り組む。

・令和10年度の企画展に向けて、広報を打ち出す時期や、連動する講演会等のイベントの内容の検討について、最も効率よく来館者増につながる方法を実施できるよう取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,582	4,582	3,665	917	0



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については地方自治法に基づき一般競争入札とし、妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	